

■困ったときは(サポートのご案内)

ホームページで調べる



サイバーショットの最新サポート情報(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など)はこちらのホームページから
<http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/>

サイバーショットオフィシャルWEBサイト
<http://www.sony.co.jp/cyber-shot/>

サイバーショットの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。英語の取扱説明書のダウンロードもできます。
(English manual download service is available.)

メモリースティック対応表

使用可能な“メモリースティック”を確認することができます。

<http://www.sony.co.jp/mstaiou/>

付属ソフトウェア(PicturePackage)のサポート情報

<http://www.ppackage.com/>

電話で問い合わせる(おかげ間違いにご注意ください。)



テクニカルインフォメーションセンター

電話 : 0564-62-4979

受付時間：月～金曜日：午前9時～午後8時
土、日曜日、祝日：午前9時～午後5時
お問い合わせの際は、本機をお手元にご用意ください。



PicturePackageに関するお問い合わせ窓口

ピクセラユーザーサポートセンター

電話 : 06-6633-3900

受付時間：月～日曜日 午前9時～午後5時(年末、年始、祝日を除く)



指定店便での修理品のお引取り、修理後の製品のお届けまでを一括して行います。テクニカルインフォメーションセンターへお電話いただくか、WEBサイトをご覧ください。

<http://www.sony.co.jp/di-repair/>

■カスタマー登録のご案内



カスタマー登録していただくと、安心・便利な各種サポートが受けられます。
詳しくは、同梱のチラシ「カスタマー登録のご案内」もしくは登録WEBサイトをご覧ください。
<http://www.sony.co.jp/di-regi/>

登録後は登録者専用お問い合わせ窓口をご利用いただけます。

詳しくは下記のURLをご覧ください。

<http://www.sony.co.jp/cyber-shot/contact/>

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川II6-7-35 <http://www.sony.co.jp/>

 この説明書は100%古紙再生紙とVOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan



2652806020

SONY®

Cyber-shot



サイバーショットを使いこなそう



メニューを使う



セットアップ画面を使う



パソコンで楽しむ



静止画をプリントする



テレビにつなぐ



困ったときは



その他



安全のために



用語の解説/索引



DSC-N1

MEMORY STICK™



「はじめにお読みください」(別冊)

本機を使うための準備と、基本的な撮影・再生の方法を説明しています。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。本書と別冊の「サイバーショット取扱説明書 はじめにお読みください」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

© 2005 Sony Corporation

2-652-806-02 (1)

商標について

- **Cyber-shot**とCyber-shot Stationはソニー株式会社の商標です。
- "Memory Stick"、"メモリースティック"、、"Memory Stick PRO"、"メモリースティック PRO"、**MEMORY STICK PRO**、"Memory Stick Duo"、"メモリースティック デュオ"、**MEMORY STICK DUO**、"Memory Stick PRO Duo"、"メモリースティックPRO デュオ"、**MEMORY STICK PRO DUO**、"MagicGate"、"マジックゲート"および**MAGIC GATE**はソニー株式会社の商標です。
- PicturePackageはソニー株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Media、DirectXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OS、QuickTime、iMac、iBook、PowerBook、Power Mac、eMacはApple Computer, Inc.の登録商標または商標です。
- MacromediaおよびFlashはMacromedia Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Intel、MMX、PentiumはIntel Corporationの登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。

⚠ 警告 安全のために

→ 122 ~ 124 ページも
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる感電や傷害など人への危害、また火災などの財産への損害を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。



「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷がないか、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやバッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐにテクニカルインフォメーションセンターへご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら
煙が出たら

- ➡
- ① 電源を切る
 - ② 電池をはずす
 - ③ テクニカルインフォメーションセンターに連絡する

裏表紙にテクニカルインフォメーションセンターの連絡先があります。

⚠ 危険 万一、電池の液漏れが起きたら

- ① すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂の恐れがあります。
- ② 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。
- ③ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗净し、医師に相談してください。
- ④ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

⚠ 危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠ 警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠ 注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く



指示

電池について

安全のためにの文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含みます。

サイバーショットを楽しむために

まずは準備をして、簡単に撮影しよう！

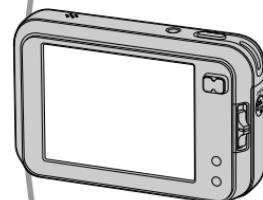


別冊「はじめにお読みください」

- 1 バッテリーを準備する
- 2 電源を入れ、時計を合わせる
- 3 “メモリースティック デュオ”(別売り)を入れる
- 4 タッチパネルを操作する
- 5 用途に合わせて画像サイズを決める
- 6 簡単に撮る(オート撮影)
- 7 画像を見る/削除する

本書では、→別冊「はじめに」とご案内しています。

少し慣れたら、本機の機能を使いこなそう！



本書

- ・お好みの設定で撮影する(プログラムオート撮影/マニュアル撮影)
→25ページ
- ・アルバム、スライドショーやペイントを使って楽しむ
→32, 35, 38ページ
- ・メニューを使って、さまざまな撮影/再生を楽しむ
→40ページ
- ・本機のお買い上げ時の設定を変える→56ページ

さらに、パソコンやプリンターとつないで楽しもう！



本書

- ・画像をパソコンに取り込んで活用
→70ページ
- ・本機をプリンターに直接つないでプリント(PictBridge対応プリンターのみ)
→89ページ

目次

安全のために	3
お使いになる前に必ずお読みください	8



サイバーショットを使いこなそう

ステップアップのための基礎知識	10
ピントクリアな画像を撮るために	10
露出ー光の量を調整して好みの画像を撮る	11
色ー光の影響について	12
画質ー「画素」と「画像サイズ」について	12
各部のなまえ	14
画面の表示	16
画面表示を切り換える	20
静止画の記録可能枚数と動画の記録時間	21
“メモリースティック デュオ”がないときは(内蔵メモリー記録)	22
バッテリー使用時間と撮影/再生枚数	24
カメラ機能を使いこなそう	25
アルバムの使いかた	32
スライドショーの使いかた	35
ペイントの使いかた	38

メニューを使う

メニューの操作方法	40
メニュー項目一覧	41
撮影時に使うメニュー	42

■ (測光モード)	WB (ホワイトバランス)
ISO	◆ (画質)
Mode (撮影モード)	BRK (ブラケット設定)
■ (インターバル)	◆ (フラッシュレベル)
PFX (P. エフェクト)	◎ (彩度)
● (コントラスト)	□ (シャープネス)
■ (セットアップ)	

目次(つづき)

再生時に使うメニュー	48
(アルバム)	(アルバム終了)
(スライドショー)	(ペイント)
(削除)	(音量)
(フォルダ)	(プロテクト)
DPOF	(プリント)
(リサイズ)	(回転)
(分割)	(セットアップ)
(トリミング)	

セットアップ画面を使う

セットアップ画面の操作方法	56
カメラ1	57
AFモード	デジタルズーム
日付/時刻	赤目軽減
カメラ2	59
AFイルミネーター	オートレビュー
内蔵メモリー	60
フォーマット	
メモリースティック	61
フォーマット	記録フォルダ作成
記録フォルダ変更	コピー
アルバム	64
書き込み	フォーマット
アルバムチェック	
設定1	65
BGMダウンロード	BGMフォーマット
設定2	66
LCDバックライト	操作音
設定リセット	
設定3	67
ファイルナンバー	USB接続
ビデオ信号出力	時計設定
設定4	69
キャリブレーション	ハウ징

パソコンで楽しむ

Windowsパソコンでできること	70
画像をパソコンに取り込む	72
パソコン内の画像を本機で見る(“メモリースティック デュオ”使用)	80
付属のソフトウェアで楽しむ	81
Macintoshをお使いのときは	84

静止画をプリントする

静止画をプリントするには	88
ダイレクトプリントする(PictBridge対応プリンター使用)	89
お店でプリントする	93

テレビにつなぐ

テレビで見る	95
--------------	----

困ったときは

故障かな?と思ったら	96
自己診断表示と警告表示	109

その他

“メモリースティック”について	113
バッテリーについて	115
バッテリーチャージャーについて	116
サイバーショットステーションについて	117
使用上のご注意	118
主な仕様	120
保証書とアフターサービス	121

安全のために

122

用語の解説/索引

用語の解説	125
索引	128

お使いになる前に必ずお読みください

本機で使用できる“メモリースティック”(別売り)

本機で使用するIC記録メディアは“メモリースティック デュオ”(“Memory Stick Duo”)です。“メモリースティック”的サイズには2種類あります。

“メモリースティック デュオ”:本機で使用可能です。



“メモリースティック”:本機では使用できません。

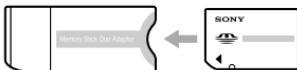


その他のメモリーカードは使用できません。

- ・“メモリースティック デュオ”について詳しくは、113ページをご覧ください。

“メモリースティック デュオ”を“メモリースティック”対応機器で使用する場合

メモリースティック デュオ アダプター(別売り)に入れると使用可能です。



メモリースティック
デュオ アダプター

バッテリーについてのご注意

- ・初めてお使いになるときは、付属のバッテリー NP-BG1を必ず充電してください。
(→別冊「はじめに」手順1)

- ・バッテリーを使い切らない状態でも充電できます。また充電が完了しなくても途中まで充電した容量分はお使いいただけます。

- ・バッテリーを長持ちさせるために、長時間使用しない場合は、本機で使い切った後、バッテリーを取りはずして湿度の低い涼しい場所で保管してください(115ページ)。

- ・バッテリーについて詳しくは、115ページをご覧ください。

カール ツアイスレンズ搭載

本機はカール ツアイスレンズを搭載し、シャープで、コントラストが良い画像を作り出すことを可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ カール ツアイスの品質基準に基づき、カール ツアイスによって認定された品質保証システムにより生産されています。

撮影内容の補償はできません

万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

内蔵メモリーおよび“メモリースティック デュオ”的バックアップについて

アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、バッテリーや“メモリースティック デュオ”を取り出したりすると、内蔵メモリーのデータや“メモリースティック デュオ”的データが壊れることがあります。データ保護のため必ずバックアップをお取りください。

データのバックアップ方法は23ページをご覧ください。

録画・再生に際してのご注意

- ・本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「使用上のご注意」をご覧ください(118ページ)。
- ・必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。

- ・本機を濡らさないでください。水滴が内部に入り込むと、故障の原因になるだけではなく、修理できなくなることもあります。
- ・日光および強い光に向けて本機を使用しないでください。故障の原因になります。
- ・強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。
- ・砂やほこりの舞っている場所でのご使用は故障の原因になります。
- ・結露が起きたときは、結露を取り除いてからご使用ください(118ページ)。
- ・本機に振動や衝撃を与えないでください。誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、記録メディアが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。
- ・フラッシュの表面の汚れは取り除いてください。発光による熱でフラッシュ表面の汚れが変色したり、貼り付いたりすると、充分に発光できない場合があります。

液晶画面、液晶ファインダー（搭載機種のみ）およびレンズについてのご注意

- ・液晶画面や液晶ファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。



- ・液晶画面や液晶ファインダー、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。
- ・液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。

- ・寒い場所で使うと、画像が尾を引いて見えることがあります、故障ではありません。
- ・本機の可動式レンズ部をぶつけたり、無理な力をかけないようご注意ください。

画像の互換性について

- ・本機は、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格 "Design rule for Camera File system" (DCF)に対応しています。
- ・本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影/修正した画像の本機での再生は保証いたしません。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本書中の画像について

画像の例として本書に掲載している写真はイメージです。本機を使って撮影したものではありません。

表示言語について

本機のメニュー項目や警告などの表示は、日本語のみに対応しております。



サイバーショットを使いこなそう

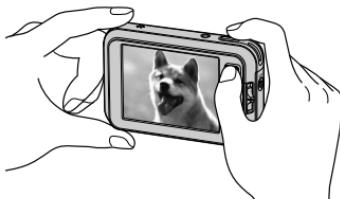
ステップアップのための基礎知識

ピント

露出

色

画質



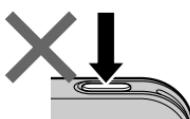
ここでは、サイバーショットを使いこなすための基礎について説明します。

本機に搭載された多彩な機能は、タッチパネルのボタンで使うことができます。

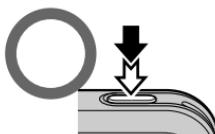
ピント クリアな画像を撮るために

本機はシャッターを半押しすることで、ピントを自動で合わせます(オートフォーカス)。シャッターを半押しする習慣をつけましょう。

いきなり
押し込む



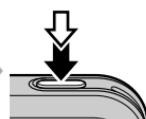
半押しにして
ピントが
合ってから



AE/AFロック表示
点滅→点灯



押し込む



ピントがうまく合わないときは: → [フォーカス] (30ページ)

ピントを合わせても画像がクリアでないときは、手ぶれを起こしている場合があります: → 次の[手ぶれを起こさないためのヒント]をご覧ください。

手ぶれを起こさないためのヒント

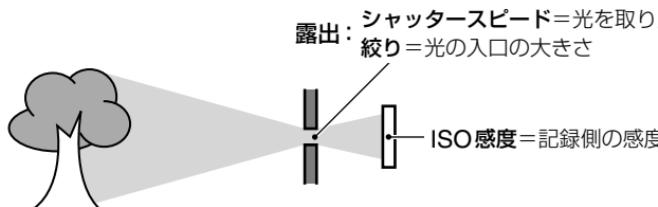
脇を締め、カメラをしっかり押さえてください。そばに木などがあれば寄りかかると安定します。また、三脚の使用、暗い場所でのフラッシュの使用もおすすめします。



露出

光の量を調整して好みの画像を撮る

露出と記録感度を調整することで、さまざまな仕上がりにすることができます。露出とはシャッターを切ったときに取り入れる光の量のことです。



露出オーバー
=光が多すぎる
画面が白くなる



露出が適正



露出アンダー
=光が少なすぎる
画面が暗くなる

本機は露出が適正になるように自動調整します(オート撮影時)が、以下の機能でお好みの状態に調整することができます。

マニュアル露出:

シャッタースピードと絞りを手動調整
→28ページ

EV補正:

自動調節した露出を補正→29ページ

測光モード:

露出を自動調整する場所を変更
→42ページ

「シャッタースピード」の特性



速くする
動きのあるものが止まって見える。



遅くする
動きのあるものが流れて見える。

「絞り」の特性(F値で設定)



絞りを開く
ピントの合う範囲が前後に狭くなる。



絞りを閉じる
ピントの合う範囲が前後に広くなる。

ISO感度の調整

ISOとは、光を受け取る撮像素子(写真フィルムに相当する部分)の感度をあらわす単位です。同じ露出で撮影しても、設定によって仕上がる画像が変わります。ISO感度を調整→43ページ



ISO感度が高い

露出が足りない場所でも、明るめに記録することができます。
ただし、画像にざらつきが生じやすくなります。



ISO感度が低い

ざらつきの少ない画像を撮ることができます。
ただし、露出が足りない場合は、画像は暗めに記録されることがあります。

色

光の影響について

被写体の見た目の色は、その場の光の影響を受けます。

例：同じ色が光の影響で違って見えます

天候や照明	晴れ 	曇り 	蛍光灯 	電球
光の特性	基準となる白	青みがかる	緑がかる	赤みがかる

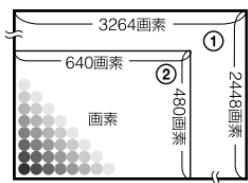
本機はこの変化を適正にするように自動調整します(オート撮影時)が、[ホワイトバランス] (42ページ)でお好みの色に調整することができます。

画質

「画素」と「画像サイズ」について

デジタル写真は「画素(ピクセル)」という小さな点が集まって作られています。「画素」を多く使うと、写真は大きく、データ量は多く、画面は精細になります。「画像サイズ」とはこの画素数を指し、本機の画面では違いはわかりませんが、プリントしたりパソコンの画面で見たときに、写真の精細さやデータ処理時間に影響します。

画素と画像サイズのイメージ



① 画像サイズ: 8M

$$3264\text{画素} \times 2448\text{画素} = 7990272\text{画素}$$

② 画像サイズ: VGA (Eメール)

$$640\text{画素} \times 480\text{画素} = 307200\text{画素}$$

用途にあわせてサイズを選ぶ(→別冊「はじめに」手順5)



お買い上げ時の設定は▽で示しています。

	静止画像サイズ	用途の例
▽	8M (3264 × 2448)	大切な画像を保存したり、A3サイズプリントやA4サイズ高精細プリントする場合
	3:2* (3264 × 2176)	A4サイズプリントやA5サイズ高精細プリントする場合
	5M (2592 × 1944)	写真のL判でプリントする場合
	3M (2048 × 1536)	より多くの画像を撮影する場合
	1M (1280 × 960)	Eメールへの画像添付やホームページ作成用の場合
	VGA (Eメール) (640 × 480)	ワイトレビューや、ハイビジョン対応テレビで見る場合***
	16:9 (HDTVサイズ)** (1920 × 1080)	

* 写真的印画紙、ポストカードなどと同じく3:2の横縦比で撮影します。

** プリント時に両端が切れることができます(106ページ)。

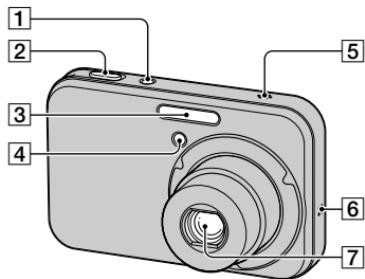
*** “メモリースティック”スロットやUSB経由で接続すれば、より高画質でお楽しみいただけます。

画質(圧縮率)設定をあわせて使う(43ページ)

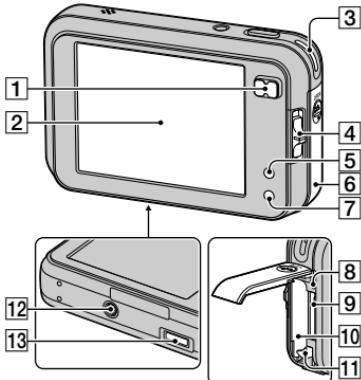
デジタル写真を保存するときの圧縮率を変更することができます。圧縮率を高くすると写真の精細さは落ちますが、データ量は少なくなります。

各部のなまえ

カッコ内の数字はページ数。



- ① パワー POWERボタン/ランプ(→別冊「はじめに」手順2)
- ② シャッター ボタン(→別冊「はじめに」手順6)
- ③ フラッシュ (→別冊「はじめに」手順6)
- ④ セルフタイマーランプ(→別冊「はじめに」手順6) /AFイルミネーター(59)
- ⑤ マイク
- ⑥ スピーカー
- ⑦ レンズ



- ① 撮影時:ズーム(W/T)ボタン(→別冊「はじめに」手順6)
再生時:Q/⊕(再生ズーム)ボタン/
▢(インデックス)ボタン(→別冊「はじめに」手順7)
- ② 液晶画面(20) /タッチパネル(→別冊「はじめに」手順4)
- ③ リストストラップ取り付け部(→別冊「はじめに」)
- ④ モードスイッチ(25)
- ⑤ □(オンスクリーンキー)ボタン(→別冊「はじめに」手順4)
- ⑥ バッテリー /“メモリースティックデュオ”カバー(→別冊「はじめに」手順1, 3)
- ⑦ |□|(画面表示オン/オフ)ボタン(20)
- ⑧ アクセスランプ(→別冊「はじめに」手順4)

⑨ “メモリースティック デュオ”挿入口
 (→別冊「はじめに」手順3)

⑩ バッテリー挿入口(→別冊「はじめに」手順1)

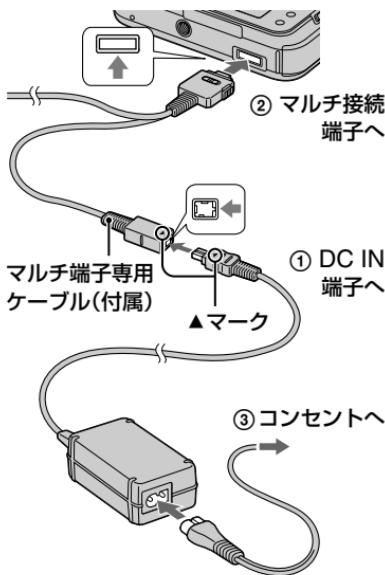
⑪ 取りはずしつまみ(→別冊「はじめに」手順1)

⑫ 三脚用ネジ穴(底面)

- 三脚を取り付けるときは、ネジの長さが5.5 mm未満の三脚を使う。
 ネジの長さが5.5 mm以上の三脚では
 しっかり固定できず、本機を傷つけるこ
 とがあります。

⑬ マルチ接続端子(底面)

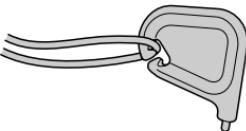
ACアダプター AC-LS5K(別売り)
 を使うとき



スタイラスを取り付ける

図のように、リストストラップに取り付けることができます。

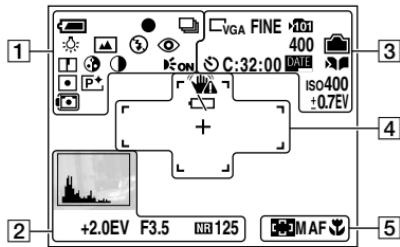
スタイラスを持って、本機を持ち運ばないでください。本機が落下する恐れがあります。



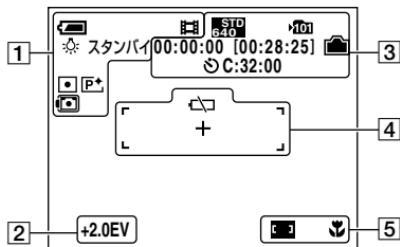
画面の表示

カッコ内の数字はページ数。

静止画撮影時



動画撮影時



1

表示	意味
	バッテリー残量(→別冊「はじめに」手順1)
●	AE/AFロック(→別冊「はじめに」手順6)
	撮影モード(25, 44)
	ホワイトバランス(42)
録画	動画撮影/スタンバイ(→別冊「はじめに」手順6)
スタンバイ	
	カメラモード(シーンセレクション) (26)
	カメラモード(プログラム/マニュアル) (25)
	フラッシュモード(→別冊「はじめに」手順6)
	フラッシュ充電中
	ズーム(→57, 別冊「はじめに」手順6)
	x1.3
	ズーム(→57, 別冊「はじめに」手順6)
	ズーム(→57, 別冊「はじめに」手順6)
	赤目軽減(58)
	シャープネス(47)
	彩度(46)
	コントラスト(47)
	AFイルミネーター (59)
	測光モード(42)
	ピクチャーエフェクト (46)
	ハウジングモード(69)

[2]

表示	意味
	ヒストグラム(20, 29)
NR	NRスローシャッター <ul style="list-style-type: none"> シャッタースピードが1/6秒またはそれよりも遅くなると、自動的にNRスローシャッター機能が働き、画像ノイズを低減します。
125	シャッタースピード(28)
F3.5	絞り値(28)
+2.0EV	EV補正值(29)

[3]

表示	意味
	画像サイズ(→別冊「はじめに」手順5)
FINE STD	画質(43)
M101	記録フォルダ(61) <ul style="list-style-type: none"> 内蔵メモリー使用時は表示されません。
	内蔵メモリー残量(22)
	"メモリースティック"残量(21)
	アルバム(32)
00:00:00 [00:28:05]	記録時間[最大記録可能時間](21, 22)
1/30"	マルチ連写インターバル(46)
400	撮影枚数(21, 22)
	セルフタイマー(→別冊「はじめに」手順6)
C:32:00	自己診断表示(109)
DATE	日付/時刻表示(58)
ISO400	ISO感度(43)
±0.7EV	プラケット設定値(45)

[4]

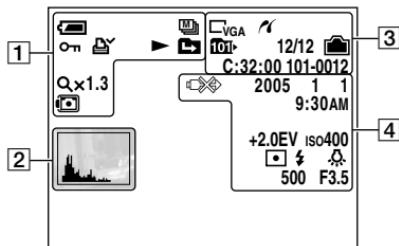
表示	意味
	手ぶれ警告(10) <ul style="list-style-type: none"> 光量不足のため、手ぶれが起こりやすい状況を示しています。表示されても撮影は可能ですが、光量を増やすためにフラッシュを使ったり、三脚などで本機をしっかりと固定することをおすすめします。
	バッテリープリエンド(24, 115)
	スポット測光照準(42)
	AF測距枠(31)

[5]

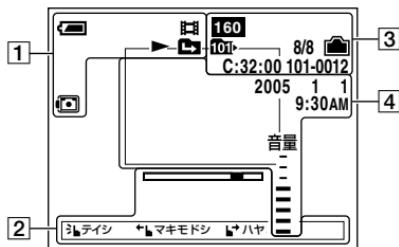
表示	意味
	マクロ(→別冊「はじめに」手順6)
S AF M AF	AFモード(57)
	AF測距枠表示(31)
1.0m	フォーカスプリセット値(30)

画面の表示(つづき)

静止画再生時



動画再生時



1

表示	意味
	バッテリー残量(→別冊「はじめに」手順1)
	撮影モード(25、44)
	再生(→別冊「はじめに」手順7)
	プロテクト(49)
	プリント予約マーク(93)
	フォルダ移動(48) ・内蔵メモリー使用時は表示されません。
	ズーム(→別冊「はじめに」手順7)
	コマ再生(45)
	12/16
	ハウジングモード(69)

2

表示	意味
	ヒストグラム(20、29) ・表示不能のときは が表示されます。
	再生バー(→別冊「はじめに」手順7)
	操作ガイド(20)

3

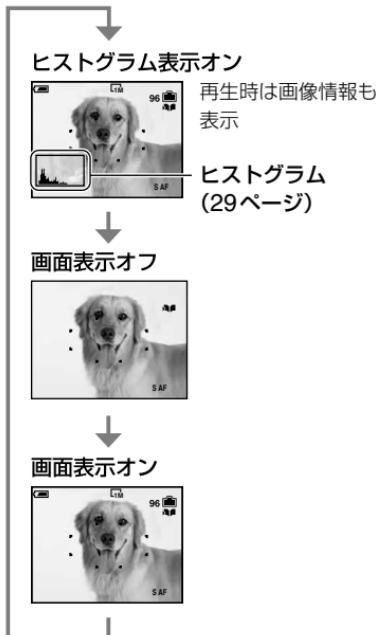
表示	意味
	画像サイズ(→別冊「はじめに」/手順5)
	PictBridge接続(89)
	記録フォルダ(61) •内蔵メモリー使用時は表示されません。
	再生フォルダ(48) •内蔵メモリー使用時は表示されません。
	内蔵メモリー残量(22)
	"メモリースティック"残量(21)
	アルバム再生(32)
101-0012	フォルダ-ファイル番号(48)
8/8 12/12	画像番号/再生フォルダ内画像枚数(21、22)
C:32:00	自己診断表示(109)
00:00:12	カウンター(→別冊「はじめに」/手順7)

4

表示	意味
	マルチ端子専用ケーブル抜き禁止(91)
+2.0EV	EV補正值(29)
ISO400	ISO感度(43)
	測光モード(42)
	フラッシュ
	ホワイトバランス(42)
500	シャッタースピード(28)
F3.5	絞り値(28)
	再生画像(→別冊「はじめに」/手順7)
2005 1 1 9:30 AM	画像の記録日時(58)
	音量(→別冊「はじめに」/手順7)

画面表示を切り換える

□(画面表示オン/オフ)ボタンを押すたびに、液晶画面の表示が以下のように切り換わります。

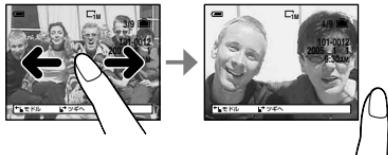


- 下記の場合、ヒストグラムは表示されません。
 - 撮影時：メニュー表示時/動画時
 - 再生時：メニュー表示時/インデックス再生時/再生ズーム時/静止画回転時/動画時
- 撮影時と再生時のヒストグラムは、下記のとき大きく異なります。
 - フラッシュ発光したとき
 - シャッタースピードが遅い、速いとき
- 他機で撮影した画像はヒストグラムが表示されないことがあります。

指でなぞって切り換える

再生時、画面をなぞって前後の画像に切り換えたりすることができます。

この機能を使うときは、□(オンスクリーンキー)ボタンを押して、タッチパネルのボタンを消してください。



指を離すと画面が切り換わります。

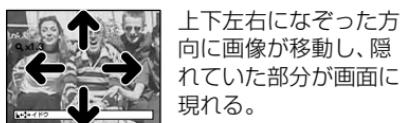
- 撮影した画像をテレビで見ているとき(95ページ)は、指でなぞって切り換えることはできません。

静止画再生時

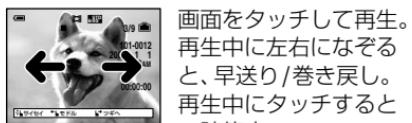


左右になぞると、画像を送る/戻す。

再生ズーム時



動画再生時



画面をタッチして再生。再生中に左右になぞると、早送り/巻き戻し。再生中にタッチすると一時停止。

- マルチ選択の再生中は、画面にタッチすると一時停止。一時停止中に左右になぞると、1コマずつ送る/戻す。

静止画の記録可能枚数と動画の記録時間

本機でフォーマットした“メモリースティック デュオ”に記録できる撮影枚数、時間の目安は次のとおりです。記録枚数/時間は撮影状況によって異なる場合があります。

静止画の記録枚数(画質 上段:[ファイン]、下段[スタンダード]) (単位:枚)

容量 サイズ	32MB	64MB	128MB	256MB	512MB	1GB	2GB
8M	8	16	32	59	121	247	506
	15	30	60	109	223	456	934
3:2	8	16	32	59	121	247	506
	15	30	60	109	223	456	934
5M	12	25	51	92	188	384	789
	23	48	96	174	354	723	1482
3M	20	41	82	148	302	617	1266
	37	74	149	264	537	1097	2250
1M	50	101	202	357	726	1482	3038
	93	187	376	649	1320	2694	5524
VGA (Eメール)	196	394	790	1428	2904	5928	12154
	491	985	1975	3571	7261	14821	30385
16:9 (HDTVサイズ)	33	66	133	238	484	988	2025
	61	123	246	446	907	1852	3798

- 撮影モードが[通常撮影]のときの枚数。
- [マルチ連写]の画像サイズは、1Mとなります。
- 静止画の撮影残枚数が9999枚より多いときは、「>9999」と表示されます。
- 撮影した画像サイズをあとで変更できます([リサイズ]、51ページ)。

動画の記録時間(単位:時:分:秒)

容量 サイズ	32MB	64MB	128MB	256MB	512MB	1GB	2GB
640 (ファイン)	-	-	-	0:02:57	0:06:02	0:12:20	0:25:18
640 (スタンダード)	0:01:27	0:02:56	0:05:54	0:10:42	0:21:47	0:44:27	1:31:09
160	0:22:42	0:45:39	1:31:33	2:51:21	5:47:05	11:44:22	24:18:25

- [640 (ファイン)]は、“メモリースティック PRO デュオ”のみに記録できます。
- 画像サイズ・画質については、12ページをご覧ください。
- 当社の従来モデルで撮影した画像を再生すると、実際の画像サイズと異なって表示される場合があります。

“メモリースティック デュオ”がないときは (内蔵メモリー記録)

本機には、取りはずすことのできない内蔵メモリー（26MB）が装備されています。本機に“メモリースティック デュオ”が入っていないときでも、画像を内蔵メモリーに記録することができます。

- ・画像サイズが[640 (ファイン)]の動画は内蔵メモリーに記録できません。



内蔵メモリーに記録できる撮影枚数、時間の目安は次のとおりです。

静止画の記録可能枚数(画質 上段:[ファイン]、下段:[スタンダード])(単位:枚)

容量 \ サイズ	8M	3:2	5M	3M	1M	VGA	16:9
26MB	6	6	10	16	40	158	26
	12	12	19	29	75	397	49

動画の記録時間(単位:時:分:秒)

容量 \ サイズ	640 (スタンダード)	160
26MB	0:01:11	0:18:59

内蔵メモリーに記録した画像データについて

必ず、以下のいずれかの方法でバックアップを取ることをおすすめします。

“メモリースティック デュオ”にバックアップをとるには

32MB以上の容量の“メモリースティック デュオ”を準備し、[コピー]（63ページ）の操作を行う。

パソコンのハードディスクにバックアップをとるには

本機に“メモリースティック デュオ”を入れない状態で、72～77ページの操作を行う。

- ・“メモリースティック デュオ”に記録された画像データを、内蔵メモリーに移すことはできません。
- ・本機とパソコンをUSB接続して、内蔵メモリーのデータをパソコンにコピーできますが、パソコン内のデータを内蔵メモリーにコピーすることはできません。

バッテリー使用時間と撮影/再生枚数

下の表は撮影モードを[通常撮影]にし、満充電した付属のバッテリーで温度25°Cの環境で使用した場合の目安です。また、撮影/再生枚数は“メモリースティック デュオ”を交換しながら撮影/再生したときの目安です。ご使用の状況によって記載より少ない数値になる場合があります。

- ・使用回数や経年変化により、バッテリー容量は低下します(115ページ)。
- ・次のような場合は使用時間と撮影/再生枚数は、表示よりも少なくなります。

- 周囲が低温のとき
- フラッシュを多用したとき
- 電源の入/切を繰り返したとき
- ズームを多用したとき
- [LCDバックライト]が[明]のとき
- [AFモード]が[モニタリング]のとき
- バッテリーの容量が低下したとき

静止画撮影時

撮影枚数	使用時間
約300枚	約150分

- ・撮影時の数値は以下の設定で撮影した数値。

- (画質) : [ファイン]
- [AFモード] : [シングル]
- 30秒ごとに1回撮影
- 1回ごとにズームをW側、T側に交互にいっぱいにする
- (セットアップ)の[書き込み]が[入]のとき
- 2回に1度、フラッシュを発光する
- 10回に1度、電源を入/切する
- ・測定方法はCIPA規格による。
(CIPA : カメラ映像機器工業会、Camera & Imaging Products Association)
- ・画像サイズによって撮影枚数/使用時間が変化することはありません。

静止画再生時

再生枚数	使用時間
約5800枚	約290分

- ・約3秒ごとにシングル画面で順番に再生した数値。

動画撮影時

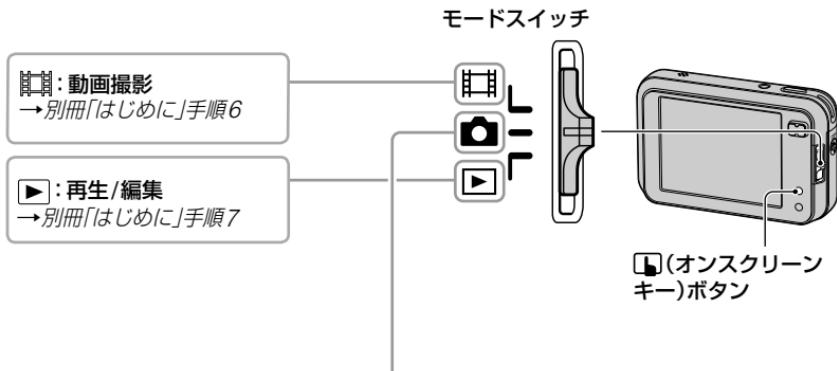
使用時間
約140分

- ・画像サイズが[160]で連続撮影した数値。

カメラ機能を使いこなそう

サイバーショットを使いこなそう

モードスイッチを、操作したい機能に合わせて設定します。



静止画撮影モード

: オート : 静止画オート撮影

自動設定で簡単に撮影できます。→別冊「はじめに」手順6

プログラム(P) : プログラムオート撮影

露出(シャッタースピードと絞り)は本機が自動設定します。また、メニューで多彩な機能を設定できます。(使用可能な機能について→41ページ)

マニュアル(M) : マニュアル露出撮影

露出(シャッタースピードと絞り)を手動設定します(28ページ)。
また、メニューで多彩な機能を設定できます。(使用可能な機能について→41ページ)

: シーンセレクション

あらかじめ、撮影状況に合わせて用意された設定で撮影できます(26ページ)。

シーンセレクション

あらかじめ、撮影状況に合わせた下記の設定が用意されています。



☽ 夜景モード*

暗い雰囲気を損なわずに、遠くの夜景を撮る。



▣ 風景モード

遠景にピントを合わせ、遠くの風景などを撮る。



☽ 夜景＆人物モード*

夜景をバックに、手前の人物を撮る。



✿ ビーチモード

海や湖畔など、水の青さを鮮やかに撮る。



✿ キャンドルモード*

キャンドルライトの雰囲気を損なわずに撮る。



✿ スノーモード

白い風景を明るく撮る。



✿ ソフトスナップモード

人物や花などを、優しい雰囲気で撮る。



✿ 打ち上げ花火モード*

打ち上げ花火をきれいに撮る。

* シャッタースピードが遅くなるので、三脚のご使用をおすすめします。

- ① [■] (オンスクリーンキー) ボタンを押す。
- ② [CAMERA] (カメラ) をタッチする。



- ③ 希望のモードをタッチする。

- ④ 撮影する。

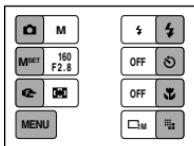
シーンセレクションでは、シーンに合わせて最適な撮影ができるよう、機能設定の組み合わせがあらかじめ決まっています。●はお好みの設定ができる機能です。

	マクロ	フラッシュモード	AF測距枠	フォーカスプリセット	プラケット	ホワイトバランス	フラッシュレベル	連写/プラケット/マルチ連写
🌙	—	⌚	●	∞	—	●	—	—
👤	●	⌚SL	●	●	—	オート/ ⌚WB	●	—
❖	—	⌚	中央重点 AF	0.5m/1.0m 3.0m/7.0m	—	☀	—	—
👤	●	●	●	●	●	●	●	●
■	—	⌚⌚	●	∞	●	●	●	●
✎	●	⌚⌚	●	●	●	●	●	●
⌚	●	⌚⌚	●	●	●	●	●	●
✿	—	⌚⌚	—	∞	—	☀	—	—

マニュアル露出

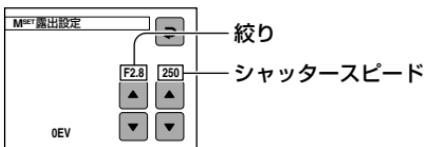
シャッタースピードと絞りを手動調整します。

- ① (オンスクリーンキー) ボタンを押す。
- ② (カメラ) → [マニュアル] をタッチし、 で戻る。



マニュアル露出モードになる。

- ③ [MSET] をタッチする。
- ④ ▲/▼をタッチして、調節する。



絞りは、下記から選べます。

– ズームがW側いっぱいのときは、F2.8、F4、F8

– ズームがT側いっぱいのときは、F5.4、F8、F16

シャッタースピードは、1/1000秒から30秒の範囲で選べます。

設定した値と本機が判断した適正露出の差が画面上にEV値(29ページ)で表示されます。

0EVが本機が最適と判断した値です。

- ⑤ 撮影する。

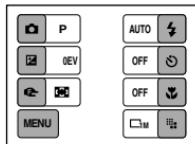
- フラッシュは (強制発光) または (発光禁止) になります。
- 絞りがW側いっぱいのときのF4とF8、T側いっぱいのときのF8とF16では、明るさのみ変化します。被写界深度は変わりません。
- 1秒以上は「1」のように「」が表示されます。
- シャッタースピードを遅くするときは手ぶれを防ぐために三脚のご使用をおすすめします。
- シャッタースピードを1/6秒またはそれよりも遅く設定すると、自動的にNRスローシャッター機能が働き、画像ノイズを低減します。画面に「NR」と表示されます。
- シャッタースピードを遅く設定すると、処理に時間がかかります。

EV補正

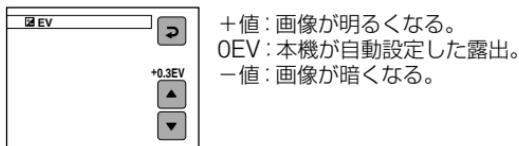
露出を手動補正します。



- ① (オンスクリーンキー)ボタンを押す。
- ② (カメラ)を[オート]か[マニュアル]以外にし、で戻る。

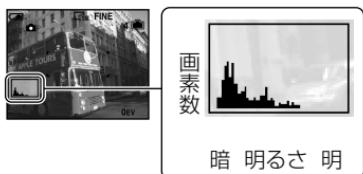


- ③ (EV)をタッチする。
- ④ をタッチして補正值を選ぶ。



- 露出について→11ページ
- 1/3EV 単位で露出値を調節できます。
- 被写体が極端に明るいときや暗いとき、またはフラッシュ撮影時は、補正が効かないことがあります。

♪ヒストグラムを使ってEV補正を行う



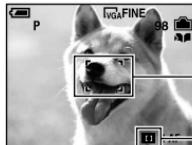
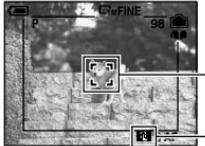
ヒストグラムは、明るさを示すグラフです。
□ボタンを繰り返し押すと、画面内に表示されます。表示が右寄りなら明るめの画像、左寄りなら暗めの画像です。 (カメラ)を[プログラム]かシーンセレクションのいずれかに合わせ、ヒストグラムで露出を確認しながらEV補正します。

- 下記の場合もヒストグラムが表示されますが、EV補正はできません。
 - (カメラ)が[オート]、[マニュアル]時
 - 静止画シングル画面再生時

フォーカス

ピント合わせの方法を変更します。ピントが合いにくいときなどに使います。

- ① (オンスクリーンキー) ボタンを押す。
- ② (カメラ) を [オート] 以外にし、 で戻る。
- ③ (フォーカス) をタッチする。
- ④ 設定したい項目をタッチする。

マルチAF(マルチポイントAF) 静止画のとき) 動画のとき)	<p>画面全体を基準に、自動ピント合わせする。 お買い上げ時の設定です。 (カメラ) が [オート] のときは、マルチポイントAFに固定されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 被写体が中央でないときなどに便利です。  <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;"> AF測距枠 AF測距枠表示 </div>
中央重点AF (□)	<p>画面中央付近の被写体に自動ピント合わせする。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 中央部分の被写体をねらってピント合わせをするときに便利です。AFロックと併用して好きな構図で撮影が可能です。  <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;"> AF測距枠 AF測距枠表示 </div>
スポットAF(フレキシブルスポットAF) (△)	<p>画面上の好きなところに測距枠を移動し、非常に小さな被写体や狭いエリアを狙ってピントを合わせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 設定方法は次ページをご覧ください。 • 三脚を使用した撮影で被写体が中央部でない場合などに便利です。 • 動いている被写体の場合では手振れの影響を受けやすいため、測距枠から被写体がはずれないようご注意ください。  <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;"> AF測距枠 AF測距枠表示 </div>

∞(無限遠)	あらかじめ設定した距離にピントが合う。
7.0 m	(フォーカスプリセット)
3.0 m	・網やガラス越しの撮影など、オートフォーカスが効きにくいときには便利です。
1.0 m	
0.5 m	

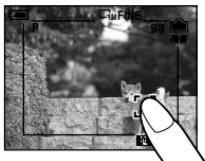
- AFとは、「Auto Focus」の略で、自動ピント合わせ機能のこと。
- 「フォーカスプリセット」の距離設定は多少の誤差を含みます。レンズを上や下に向けると誤差は大きくなります。
- 動画撮影時は、[マルチAF]をおすすめします。手ぶれに強いためです。
- [デジタルズーム]や、[AFイルミネーター]を使用するときは、中央付近の被写体を優先したAF動作になります。この場合、 または は点滅し、AF測距枠は表示されません。
- シーンセレクションのモードによっては、選択できないものがあります(26ページ)。

⌚ スポットAFの設定方法

- ① (カメラ) を [オート] 以外にし、 で戻る。
- ② (フォーカス) → [スポットAF] の順にタッチする。
- ③ (オンスクリーンキー) ボタンを押して、メニュー表示を消す。

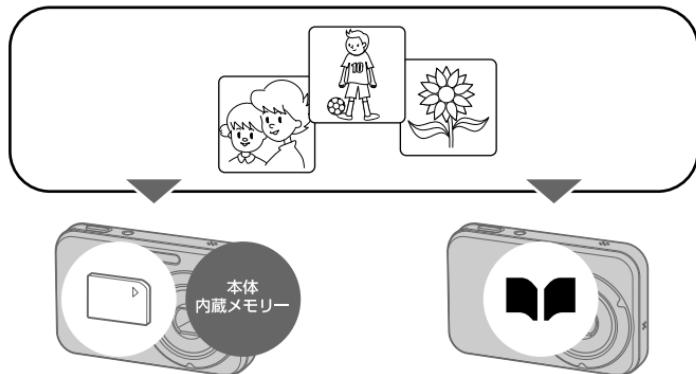


- ④ ピントを合わせたい位置にタッチする。



アルバムの使いかた

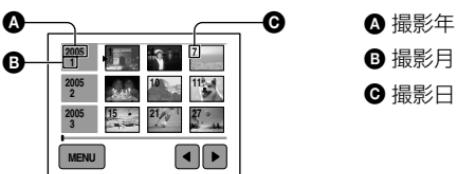
画面に が表示されているときに画像を撮影すると、小サイズの同一画像が本機のアルバムにも保存されます(64ページ)。“メモリースティック デュオ”から画像を消去しても、アルバムに同じ画像を残しておくことができる所以、いつでも撮影した画像を見るることができます。



- ・アルバムに記録される画像サイズは[VGA]（マルチ連写時は[1M]）、画質は[スタンダード]です。最大500枚記録できます。
- ・アルバム再生時に電源を切ったり、モードスイッチを切り換えたりすると、アルバム再生は終了します。

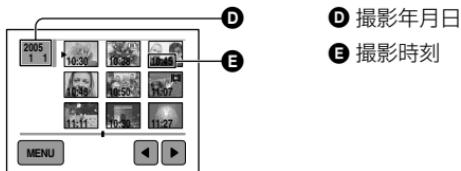
アルバムの画像を再生するには

- ①モードスイッチを にする。
- ② [MENU] → [アルバム] の順にタッチする。
アルバム内の画像が撮影日ごとにまとめられた“この日”という単位ごとにインデックス表示される。



③ ▲/▼で、表示したい“この日”を探してタッチする。

“この日”に含まれるすべての画像がインデックス表示される。



- 1つ前のインデックス画面に戻るには、■(インデックス)ボタンを押します。

④ ▲/▼で、表示したい画像を選び、タッチする。

画像が表示される。



- “この日”内のインデックス表示に戻るには、■(インデックス)ボタンを押します。

アルバムの画像を削除するには

シングル画面で削除するには

① 削除したい画像を表示して、[MENU]をタッチし、メニューを表示する。

② [削除] → [削除] → [実行]の順にタッチする。

インデックス画面で削除するには

① 「アルバムの画像を再生するには」の手順③の状態で、[MENU]をタッチし、メニューを表示する（「アルバム画像を再生するには」の手順②では、“この日”を削除することはできません）。

② [削除] → [選択]の順にタッチする。

③ 削除したい画像をタッチして、■(削除)マークを付ける。

④ [実行] → [実行]の順にタッチする。

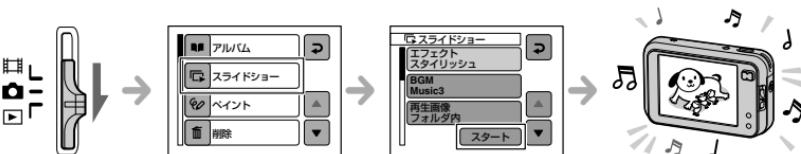
- “この日”内のすべての画像を削除するには、手順②で[日内全て]をタッチする。

⌚ アルバムに記録された画像データについて

- ・アルバムの容量がいっぱいになると、古い画像データから自動的に削除されます。
保存しておく画像データは、プロテクトしてください(49ページ)。
- ・プロテクトした画像でアルバムの容量がいっぱいのとき、■■が点滅します。内蔵メモリーまたは“メモリースティック デュオ”への撮影はできますが、アルバムには記録されません。アルバム内の不要な画像のプロテクトをはずすと、アルバムにも記録できます。
- ・アルバム内の画像データのバックアップをとるには、[コピー] (63ページ)の操作を行います。
- ・アルバム内の画像データを直接パソコンに転送することはできません。「コピー」の操作を行って、データを“メモリースティック デュオ”にコピーし、“メモリースティック デュオ”からパソコンにコピーしてください。
- ・内蔵メモリーや“メモリースティック デュオ”、パソコン内の画像をアルバムにコピーすることはできません。
- ・内蔵メモリーまたは“メモリースティック デュオ”的画像をプロテクトしてもアルバム内の画像はプロテクトされません。また、アルバム内の画像をプロテクトしても内蔵メモリーまたは“メモリースティック デュオ”内の画像はプロテクトされません(49ページ)。
- ・内蔵メモリーまたは“メモリースティック デュオ”内の画像をトリミング、またはリサイズしてもアルバム内の画像は変更されません。
- ・アルバム内の画像には、以下の操作ができません。
 - －ペイントする
 - －プリント予約マークを付ける
 - －プリントする
 - －リサイズする
 - －トリミングする

スライドショーの使いかた

撮影した画像をエフェクトおよびBGMとともに再生します(スライドショー)。



① モードスイッチ
を[▶]にする。

② [MENU] → [スライドショー]
→ [スタート]の順にタッチする。

③ スライドショーが
始まる。

通常再生のときは“メモリースティック デュオ”または内蔵メモリーの画像を、アルバム再生のときはアルバム内の画像を再生します。

音量を調節するには

BGMの音量を調節するには、再生中に[■] (オンスクリーンキー)ボタンを押して、
+/ -で調整する。または、スライドショー開始前に、[MENU]の[音量]で調節する。

スライドショーを一時停止するには

画面をタッチする。

再開したいときは、[続行]をタッチする。画像は停止したところから再生しますが、
BGMは曲の初めから再生します。

画像を戻す/送るには

一時停止中に[◀]/[▶]をタッチする。

スライドショーを終了するには

一時停止中に[終了]をタッチする。

- PictBridge接続中は、スライドショーはできません。

設定を変更する

スライドショーの設定をお好みで変更することができます。

- ① [MENU] → [スライドショー]の順にタッチする。
- ② 設定するメニュー項目にタッチする。
- ③ 希望の設定にタッチして、[▶]をタッチする。

スライドショーの使いかた(つづき)

設定することができる項目は以下のとおりです。
お買い上げ時の設定は▽で示しています。

エフェクト

	シンプル	さまざまなシーンにフィットするシンプルなスライドショー。
	ノスタルジック	映画の1シーンのようなムードあるスライドショー。
▽	スタイリッシュ	ミドルテンポのスタイリッシュなスライドショー。
	アクティブ	アクティブなシーンに合ったハイテンポなスライドショー。
	ノーマル	画像を一定間隔で送るベーシックなスライドショー。

- ・[シンプル]、[ノスタルジック]、[スタイリッシュ]、[アクティブ]設定時は
　－静止画のみ表示されます。
　－マルチ連写した画像は1コマ目のみ表示されます。
- ・[ノーマル]設定時は、BGM [切]で固定です。ただし、動画の音声は流れます。

BGM

BGMは、それぞれのエフェクトに合わせて作られています。

	Music1	エフェクトが[シンプル]のときの初期設定。
	Music2	エフェクトが[ノスタルジック]のときの初期設定。
▽	Music3	エフェクトが[スタイリッシュ]のときの初期設定。
	Music4	エフェクトが[アクティブ]のときの初期設定。
	切	エフェクトが[ノーマル]のときの設定。BGMはありません。

再生画像

▽	フォルダ内(この日)	選択中のフォルダ内の画像を順番に再生する(アルバム再生時は[この日])。
	全て	"メモリースティック デュオ" またはアルバム内の全ての画像を順番に再生する。

- ・アルバム再生にした直後、“この日”という単位ごとのインデックス画面でスライドショーの設定をしようとしたときは、[全て]に固定されます。[この日]を選択したい場合は、インデックス画面で再生したい日付を選んでから、スライドショーの設定をしてください。

繰り返し

<input checked="" type="checkbox"/>	入	繰り返しスライドショーする。
<input type="checkbox"/>	切	1回スライドショーする。

間隔設定

<input checked="" type="checkbox"/>	3秒	画面切り替えの間隔。 (エフェクトが[ノーマル]のときのみ)
<input type="checkbox"/>	5秒	
<input type="checkbox"/>	10秒	
<input type="checkbox"/>	30秒	
<input type="checkbox"/>	1分	

✿ BGMファイルを追加/入れ替えるには

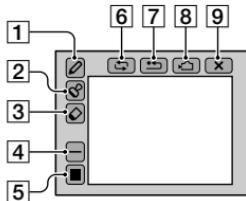
お手持ちの音楽CDやMP3ファイルからお好みの曲(BGMファイル)を本機に転送し、スライドショーとともに再生させることができます。BGMファイルの転送は、パソコンにインストールした付属のソフトウェア「Music Transfer」を使用して、 (セットアップ)の[BGMダウンロード]で行います。詳しくは、83ページをご覧ください。

- ・本機には4曲までBGMを記録することができます。(出荷時には、4曲分(Music1～4)すべてのBGMが用意されていますが、お好みの曲と入れ替えることができます。)
- ・本機で再生できる曲の長さは、1曲最長180秒までです。
- ・BGMファイルが破損するなどして再生ができない場合は、[BGMフォーマット] (65ページ)を行って、あらためてBGMファイルを本機に転送しなおしてください。

ペイントの使いかた

静止画に書き込みをして、別ファイルとして保存します。付属のスタイラスを使ってください。

- ・動画、マルチ連写画像、アルバム内の画像にはペイントできません。
- ・撮影した画像をテレビで見ているとき(95ページ)は、ペイントできません。



- [1] ペンボタン
[2] スタンプボタン
[3] 消しゴムボタン
[4] 太さ選択ボタン / スタンプ選択ボタン
選択ボタン
[5] 色選択ボタン

- [6] 一つ前に戻るボタン
[7] オールクリアボタン
[8] 保存ボタン / ペイント終了ボタン
[9] ペイント終了ボタン

文字や絵を描くには

- ① ペンボタンをタッチする。
- ② 太さを選ぶ。
太さ選択ボタンをタッチしてお好みの太さを選択し、確定ボタンをタッチする。
- ③ 文字や絵を描く。

スタンプするには

- ① スタンプボタンをタッチする。
- ② スタンプを選ぶ。
スタンプ選択ボタンをタッチしてお好みのスタンプを選択し、確定ボタンをタッチする。
- ③ スタンプする。

ペンやスタンプの色を変えるには

- 色選択ボタンをタッチしてお好みの色を選択し、確定ボタンをタッチする。
- ・色は、ペンとスタンプ共通になります。

間違えたときは

◆ボタンをタッチして、スタイルスで消したいところをこする。または◀ボタンをタッチする(もう1度◀ボタンをタッチすると、最新の状態に戻ります)。

- ・消しゴムの太さはペンの太さと同様に、太さ選択ボタンで選べます。太さは、ペンと共通になります。

ペイントを全部消すには

- ①◀ボタンをタッチする。
「オールクリア」というメッセージが表示される。
- ②[実行]をタッチする。
ペイントが消える。

取り消すときは、[キャンセル]をタッチする。

保存するには

- ①▶/□ボタンをタッチする。
「保存」というメッセージが表示される。
- ②[実行]をタッチする。
選択中の記録フォルダに一番新しいファイルとして記録される。

取り消すときは、[キャンセル]をタッチする。

- ・保存される画像サイズは[VGA]、画質は[ファイン]です。

ペイントを終了するには

- ①×ボタンをタッチする。
「終了」というメッセージが表示される。
- ②[実行]をタッチする。

取り消すときは、[キャンセル]をタッチする。

- ・保存しないで×ボタンをタッチすると、保存されずにそのまま終了します。保存する場合は、かならず▶/□ボタンで保存してください。



メニューを使う

メニューの操作方法



1 本機の電源を入れ、モードスイッチを合わせる。

モードスイッチの位置やメニューの \blacksquare (カメラ)の設定によって、使用できる項目が異なります。

2 ■(オンスクリーンキー)ボタンを押し、タッチパネルのボタンを表示する。

- モードスイッチが「 \blacksquare 」のときは、この手順は不要です。

3 [MENU]をタッチし、メニューを表示する。

4 設定するメニュー項目をタッチする。

- 設定するメニュー項目がかくれている場合は、▲/▼を押して表示します。



5 希望の設定をタッチする。

6 ■(オンスクリーンキー)ボタンを押し、メニュー表示を消す。

- グレー表示の項目は設定できません。

メニュー項目一覧

モードスイッチの位置によって、使用できるメニュー項目が異なります。本機の画面には、使用できる項目のみ表示されます。

(● : 使用可能)

モードスイッチの位置:

オート	プログラム	マニュアル	シーンセレクション	■	▶
-----	-------	-------	-----------	---	---

撮影時に使うメニュー (42ページ)

□ (測光モード)	-	●	●	●	●	-
WB (ホワイトバランス)	-	●	●	●	●	-
ISO	-	●	●	●	-	-
◆ (画質)	-	●	●	●	-	-
Mode (撮影モード)	●	●	●	●	-	-
BRK (ブラケット設定)	-	●	●	●*	-	-
■ (インターバル)	-	●	●	●*	-	-
△ (フラッシュレベル)	-	●	●	●*	-	-
PFX (P. エフェクト)	-	●	●	●	●	-
◎ (彩度)	-	●	●	-	-	-
○ (コントラスト)	-	●	●	-	-	-
□ (シャープネス)	-	●	●	-	-	-
■ (セットアップ)	●	●	●	●	●	-

再生時に使うメニュー (48ページ)

■ (アルバム)	-	-	-	-	-	●
■ (アルバム終了)	-	-	-	-	-	●
□ (スライドショー)	-	-	-	-	-	●
○ (ペイント)	-	-	-	-	-	●
■ (削除)	-	-	-	-	-	●
△ (音量)	-	-	-	-	-	●
□ (フォルダ)	-	-	-	-	-	●
○ (プロジェクト)	-	-	-	-	-	●
DPOF	-	-	-	-	-	●
△ (プリント)	-	-	-	-	-	●
□ (リサイズ)	-	-	-	-	-	●
○ (回転)	-	-	-	-	-	●
△ (分割)	-	-	-	-	-	●
■ (セットアップ)	-	-	-	-	-	●
■ (トリミング) **	-	-	-	-	-	●

* シーンセレクションのモードによっては使用できません(26ページ)。

** 再生ズーム時のみ。

お買い上げ時の設定は \heartsuit で示しています。

(測光モード)



本機が自動で露出を決めるとき、画面のどの部分で光を測るか(測光)を設定します。

<input checked="" type="checkbox"/>	マルチ (マルチパターン測光)	画面を多分割して測光し、全体のバランスをとって自動調節する。
	中央重点(中央重点測光) ()	画面の中央部に重点において測光し、中央部付近の明るさを基準に露出を決める。
	スポット(スポット測光) ()	<p>被写体の一部分だけで測光する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 逆光にある被写体や、背景と被写体のコントラストが強いときには便利です。  <p>スポット測光 被写体をここに合わせる</p>

• 露出について → 11ページ

• [スポット測光] や [中央重点測光] の場合、測光する場所とフォーカス位置を合わせたいときは、
[] (フォーカス) を [中央重点AF] にすることをおすすめします (30ページ)。

WB (ホワイトバランス)



画像の色がおかしいと感じたときなどに、撮影場所の光の状況に合わせて調整します。

<input checked="" type="checkbox"/>	オート	ホワイトバランスを自動調節する。
	太陽光()	屋外や、夜景/ネオン/花火/日の出/日没前後などに合わせる。
	曇天()	曇り空に合わせる。
	蛍光灯()	蛍光灯の光に合わせる。
	電球()	パーティー会場など、照明条件が変化するときや、スタジオなどのビデオライトに合わせる。
	フラッシュ (WB)	<p>フラッシュ光に合わせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 動画のときは選べません。

- ホワイトバランスについて→12ページ
- ちらつきのある蛍光灯下では、[蛍光]（蛍光灯）を選んでもうまく合わないことがあります。
- [**WB**]（フラッシュ）以外のときフラッシュ発光して撮影すると、[ホワイトバランス]は[オート]になります。
- シーンセレクションのモードによっては、選択できないものがあります（26ページ）。

ISO

光に対する感度をISOという単位で設定します。数値が大きいほど高感度になります。

<input checked="" type="checkbox"/> オート	暗い場所や高速で移動する被写体には大きい値を、高画質で撮るには小さい値を設定する。
64	
100	
200	
400	
800	

- ISO感度について→11ページ
- 高感度になるほどノイズ感が増します。
- シーンセレクションのときは、[ISO]は[オート]になります。

◆ (画質)

静止画の圧縮率を選びます。

<input checked="" type="checkbox"/> ファイン(FINE)	高画質(低圧縮)で記録する。
<input type="checkbox"/> スタンダード(STD)	標準画質(高圧縮)で記録する。

- 画質について→12ページ

Mode（撮影モード）



シャッターを押し込んだとき、連写するかしないかを設定します。

<input checked="" type="checkbox"/> 通常撮影	連写しない。
<input type="checkbox"/> 連写(■)	シャッターボタンを押し続けている間、最大連写枚数(下の表)まで連写する。 ・「記録中」という表示が消えると次の画像を撮影できます。
<input type="checkbox"/> ブラケット(BRK)	3通りの異なった露出で、静止画を3枚撮影する。 ・被写体の明るさによってうまく撮影できないときに、ブラケット撮影で露出を変えながら撮影すれば、撮影したあと最適な露出の画像を選ぶことができます。
<input type="checkbox"/> マルチ連写(■)	シャッターボタンを押すと、1枚の静止画の中に16コマの画像を連続記録する。 ・スポーツのフォームチェックなどに便利です。 ・[インターバル] (46ページ)で、コマ間のインターバル(間隔)を設定できます。

【連写】について

- ・フラッシュは④(発光禁止)になります。
- ・セルフタイマーで連写すると、最大5枚の連続撮影となります。
- ・バッテリーの残量が少ない、または内蔵メモリー／“メモリースティック デュオ”的容量がいっぱいになると、連写は停止します。
- ・シーンセレクションのモードによっては連写できない場合があります(26ページ)。

最大連写枚数

()内は【書き込み】が【切】のとき(枚)

サイズ	画質	ファイン	スタンダード
8M		4 (4)	6 (6)
3:2		4 (4)	6 (6)
5M		5 (5)	9 (9)
3M		8 (8)	13 (14)
1M		15 (15)	15 (15)
VGA (Eメール)		15 (15)	15 (15)
16:9 (HDTVサイズ)		12 (13)	15 (15)

[ブラケット]について

- ・フラッシュは $\textcircled{3}$ (発光禁止)になります。
- ・フォーカスとホワイトバランスは、最初の1枚目に設定された値に固定されます。
- ・EV補正をしているときは(29ページ)、補正した明るさを基準に露出が変わり撮影されます。
- ・撮影の間隔は約1.1秒です。
- ・被写体が明るすぎたり暗すぎたりするときは、設定した補正量で撮影できない場合があります。
- ・シーンセレクションのモードによっては、ブラケット撮影できない場合があります(26ページ)。

[マルチ連写]について

- ・マルチ連写した画像は、下記の操作で連続再生できます。
- 一時停止/再開: II/II をタッチする。
1コマずつ再生: 一時停止状態で $\text{◀}/\text{▶}$ をタッチする。 ▶ をタッチすると連続再生に戻る。
- ・[マルチ連写]では、以下の操作ができません。
 - ースマートズーム
 - 一フラッシュ撮影
 - 一日付・時刻の挿入
 - 連写画像の分割/希望のコマのみの削除
 - [] (カメラ)が「オート」のとき「インターバル」を[1/30]以外に設定すること
- ・マルチ連写した画像をパソコンで再生すると、撮影された16コマが1枚の画像として同時に表示されます。マルチ連写機能のないカメラで再生した場合も同様です。
- ・マルチ連写の画像サイズは1Mとなります。
- ・シーンセレクションのモードによってはマルチ連写できない場合があります(26ページ)。

BRK(ブラケット設定)



自動的に露出を変えて3枚の画像を連続して撮影できます。

<input type="checkbox"/>	$\pm 1.0\text{EV}$	露出値を上下に1.0EVずらして撮影する。
<input checked="" type="checkbox"/>	$\pm 0.7\text{EV}$	露出値を上下に0.7EVずらして撮影する。
<input type="checkbox"/>	$\pm 0.3\text{EV}$	露出値を上下に0.3EVずらして撮影する。

- ・シーンセレクションのモードによっては、[BRK(ブラケット設定)]が表示されません。

 (インターバル)

[マルチ連写] (44ページ)のコマ間のインターバル(間隔)を設定します。

<input checked="" type="checkbox"/>	1/30 (1/30")	• [Mode]が[マルチ連写]以外のときは設定できません (44ページ)。
<input checked="" type="checkbox"/>	1/15 (1/15")	
<input checked="" type="checkbox"/>	1/7.5 (1/7.5")	

- ・シーンセレクションのモードによっては、[(インターバル)]が表示されません。

 (フラッシュレベル)

フラッシュの発光量を調節します。

<input checked="" type="checkbox"/>	+ (++)	+側：発光量を増やす。
<input checked="" type="checkbox"/>	標準	
<input checked="" type="checkbox"/>	- (--)	-側：発光量を減らす。

- ・フラッシュモードの切り換え→別冊「はじめに」手順6
- ・シーンセレクションのモードによっては、フラッシュレベルの設定ができない場合があります
(26ページ)。

PFX(P.エフェクト) (ピクチャーエフェクト)



設定してから撮影すると、特殊効果を加えて撮影できます。

<input checked="" type="checkbox"/>	切	特殊効果を加えない。
<input checked="" type="checkbox"/>	セピア()	古い写真のような色合いにする。
<input checked="" type="checkbox"/>	モノトーン()	画面を白黒にする。

- ・電源を切ったあとは保持されません。

 (彩度)

撮影する画像の鮮やかさ(彩度)を変えます。

<input checked="" type="checkbox"/>	+ (③)	+側：鮮やかな色合いにする。
<input checked="" type="checkbox"/>	標準	
<input checked="" type="checkbox"/>	- (④)	-側：落ち着いた色合いにする。

①(コントラスト)

撮影する画像の明暗の比(コントラスト)を変えます。

<input type="checkbox"/>	+ (●)	+側：画像の明暗比が増す。
<input checked="" type="checkbox"/>	標準	
<input type="checkbox"/>	- (●)	-側：画像の明暗比が減る。

□(シャープネス)

撮影する画像の鮮鋭度(シャープネス)を変えます。

<input type="checkbox"/>	+ (□)	+側：画像のくっきり感が増す。
<input checked="" type="checkbox"/>	標準	
<input type="checkbox"/>	- (□)	-側：落ち着いた画像にする。

■(セットアップ)

56ページをご覧ください。

再生時に使うメニュー

→操作方法は40ページ

書 (アルバム)



アルバムの画像を再生します。

32ページをご覧ください。

書 (アルバム終了)



アルバムの画像再生を終了します。

戻 (スライドショー)



撮影した静止画をエフェクトおよびBGMとともに再生します。

35ページをご覧ください。

ペ (ペイント)



静止画に書き込みをします。

38ページをご覧ください。

削 (削除)



画像を削除します。

→別冊「はじめに」手順7

音 (音量)



音量を調節します。

→別冊「はじめに」手順7

□ (フォルダ)



再生したい画像の入っているフォルダを選びます。（“メモリースティック デュオ”使用時のみ）

実行	次頁の手順をご覧ください。
キャンセル	フォルダ選択をやめる。

- ① ▲/▼で再生したい画像が入っているフォルダを選ぶ。



- ② [実行]をタッチする。

♪ フォルダについて

本機は撮影した画像を“メモリースティック デュオ”的定のフォルダに記録します(61ページ)。このフォルダを変更したり、新規で作成したりできます。

- ・ フォルダを作成するには→[記録フォルダ作成] (61ページ)
- ・ 記録先のフォルダを変更するには→[記録フォルダ変更] (62ページ)
- ・ “メモリースティック デュオ”に複数のフォルダがあるときは、フォルダ内の最初/最後の画像に下記のマークが表示されます。

◀ : 前のフォルダに移動可能

▶ : 後ろのフォルダに移動可能

▲ ▼ : 前/後のフォルダに移動可能

メニューを使う

○ (プロテクト)



画像を誤って消さないように保護(プロテクト)します。プロテクトすると、アルバム画像の自動消去も防ぎます。

プロテクト(○)	下記の手順をご覧ください。
終了	プロテクト操作を終了する。

シングル画面でプロテクトするには

- ① プロテクトしたい画像を表示する。
- ② [MENU]をタッチし、メニューを表示する。
- ③ ▲/▼をタッチして [○] (プロテクト)を表示させ、タッチする。
- ④ [プロテクト]をタッチする。

画像がプロテクトされ、○マークが付く。

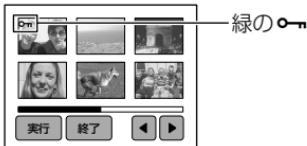


- ⑤ 他の画像もプロテクトしたいときは、◀/▶で画像を表示し、[プロテクト]をタッチする。

インデックス画面でプロテクトするには

- ①  (インデックス)ボタンを押して、インデックス画面にする。
- ② [MENU]をタッチし、メニューを表示する。
- ③ [プロテクト] → [選択]の順にタッチする。
- ④ プロテクトしたい画像をタッチする。

画像に緑色の  マークが付く。



⑤ 他の画像もプロテクトしたいときは、手順④を繰り返す。

⑥ [実行] → [実行]の順にタッチする。

- ・フォルダ内の全画像をプロテクトするには、[プロテクト] → [フォルダ内全て]の順にタッチし、次に[入]をタッチする。

プロテクトを解除するには

シングル画面で解除するには

プロテクトを解除したい画像を表示し、[MENU] → [プロテクト] → [プロテクト]の順にタッチする。

インデックス画面で解除するには

- ①「インデックス画面でプロテクトするには」の手順④で解除したい画像を選ぶ。
- ② 同じ操作を解除したいすべての画像について繰り返す。
- ③ [実行] → [実行]の順にタッチする。

フォルダ内全画像のプロテクトを解除するには

「インデックス画面でプロテクトするには」の手順③で[フォルダ内全て]を選んで、次に[切]をタッチする。

- ・フォーマットするとプロテクトした画像も削除され元に戻せません。
- ・プロテクトには時間がかかる場合があります。

DPOF



プリントしたい画像にプリント予約マーク(印)を付けます(93ページ)。

凸(プリント)



88ページをご覧ください。

■(リサイズ)



撮影した画像のサイズを変えて(リサイズ)、新しいファイルとして記録します。元の画像はそのまま残ります。

8M	[画像サイズ]の選択の目安→別冊「はじめに」手順5
5M	
3M	
1M	
VGA	

- ① サイズを変更したい画像を表示する。
- ② [MENU]をタッチし、メニューを表示する。
- ③ ▲▼をタッチして [■] (リサイズ)を表示させ、タッチする。
- ④ 変更したいサイズを選び、[実行]をタッチする。

リサイズした画像が選択中の記録フォルダに一番新しいファイルとして記録される。

- [画像サイズ]→別冊「はじめに」手順5
- 動画、マルチ連写画像、アルバム内の画像はリサイズできません。
- 小さいサイズから大きいサイズにリサイズすると、画像が劣化します。
- 横縦比3:2、16:9の画像サイズにはリサイズすることはできません。
- 横縦比3:2、16:9の画像はリサイズすると画像の上下に黒帯が入ります。

[[[(回転)



静止画像を左右に回転します。

[[[画像を回転する。下記の手順をご覧ください。
実行	画像の回転を確定する。下記の手順をご覧ください。
キャンセル	[回転]を中止する。

① 回転させたい画像を表示する。

② [MENU]をタッチし、メニューを表示する。

③ ▲/▼をタッチして [[[[(回転) を表示させ、タッチする。

④ [[[[をタッチし、画像を回転させる。

⑤ [実行]をタッチする。

- ・プロテクトされている画像、動画、マルチ連写画像は回転できません。
- ・他機で撮影した画像は本機では回転できないことがあります。
- ・パソコンで画像を見るとき、ソフトウェアによっては画像の回転情報が反映されない場合があります。

[[[[(分割)



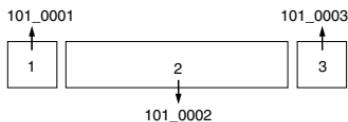
撮影した動画を分割したり、不要な部分を削除できます。内蔵メモリーまたは“メモリースティック デュオ”的容量が足りないときやEメールで動画を送るときに便利です。

・分割する前の動画は削除され、そのファイル番号は次番となります。また、1度分割した動画を元に戻すことはできません。

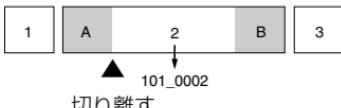
実行	次頁の手順をご覧ください。
キャンセル	分割を中止する。

例：101_0002の動画を分割した場合

下記のようなファイル構成のときにファイル名101_0002の動画ファイルを分割、削除する場合を例に説明する。

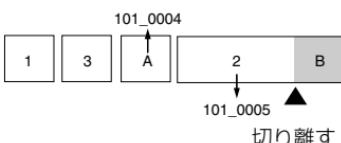


1 シーンAを切り離す。



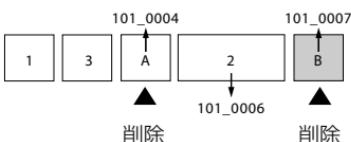
101_0002が、分割されて101_0004と101_0005になる。

2 シーンBを切り離す。

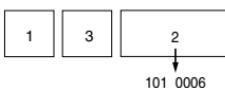


101_0005が分割されて、101_0006と101_0007になる。

3 シーンAとBは不要なので削除する。



4 必要なシーン101_0006だけが残る。



操作方法

- ① 分割したい動画を表示する。
- ② [MENU]をタッチし、メニューを表示する。
- ③ ▲/▼をタッチして[分割]を表示させ、タッチする。
- ④ [実行]をタッチする。
動画が再生される。
- ⑤ 分割したい位置で■をタッチする。



- ・分割する位置を微調節したいときは、◀◀/▶▶(コマ戻し/コマ送り)で微調節する。
- ・分割する場所を選びなおすときは、▶で動画再生を再開する。
- ⑥ [実行] → [実行]の順にタッチする。
動画が分割される。
- ・分割後のファイル番号は、例のようになります。分割された動画は選択している記録フォルダに一番新しいファイルとして記録されます。
- ・下記の画像は分割できません。
 - 静止画
 - 分割できる充分な長さ(約2秒間)のない動画
 - プロテクトされている動画(49ページ)

(セットアップ)



56ページをご覧ください。

 (トリミング)


再生ズーム(→別冊「はじめに」手順7)した画像を新しいファイルとして記録します。

8M
5M
3M
1M
VGA

[画像サイズ]の選択の目安→別冊「はじめに」手順5

① 再生ズーム中に[MENU]をタッチし、メニューを表示する。

②  (トリミング)をタッチする。

③ 画像サイズをタッチする。

④ [実行]をタッチする。

画像が記録され、拡大前の画像表示に戻る。

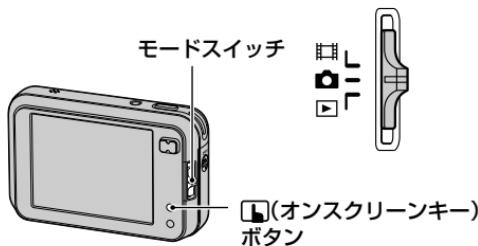
- ・トリミングした画像は一番新しいファイルとして記録され、元の画像はそのまま残ります。
- ・トリミングした画像は画質が劣化する場合があります。
- ・3:2、16:9の画像サイズにトリミングすることはできません。
- ・アルバム内の画像をトリミングすることはできません。



セットアップ画面を使う

セットアップ画面の操作方法

■(セットアップ)画面を使うと、本機のお買い上げ時の設定を変更できます。



1 電源を入れる。

2 □(オンスクリーンキー)ボタンを押して、設定画面を表示する。

- モードスイッチが「□」のときは、この手順は不要です。

3 [MENU]をタッチし、メニューを表示する。

4 ▼をタッチし、■(セットアップ)を表示させ、タッチする。

5 ▲/▼をタッチし、設定したい項目を表示させ、変更したい設定項目をタッチする。



6 変更したい設定項目をタッチする。

選ばれた設定が青色に変わり、設定される。

■(セットアップ)画面を終了するには、□(オンスクリーンキー)ボタンを押す。

■(セットアップ)画面からメニューに戻るには、右上の➡を繰り返しタッチする。

設定変更を中止するには

[キャンセル]が選択項目にある場合は、それをタッチする。ない場合は、設定しなおす。

- 設定は、電源を切ってからも保持されます。

お買い上げ時の設定は \checkmark で示しています。

AFモード

自動ピント合わせ(オートフォーカス)の種類を選びます。

<input checked="" type="checkbox"/>	シングル(S AF)	シャッター <button>ボタン</button> を半押しすると自動ピント合わせする。動きのない被写体を撮影するときに便利。
	モニタリング(M AF)	シャッター <button>ボタン</button> を半押しする前から自動ピント合わせする。ピント合わせの時間を短くできる。 <ul style="list-style-type: none">・[シングル]よりもバッテリーの消耗が早くなります。

デジタルズーム

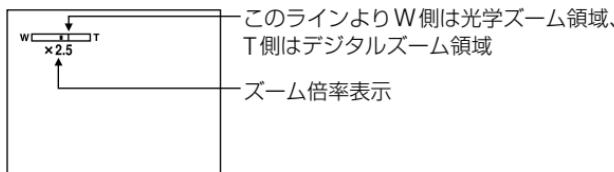
デジタルズームの設定をします。本機はレンズの倍率(3倍)まで光学ズームを行い、それを超えるとスマート/プレシジョンいずれかのデジタルズームを行います。

<input checked="" type="checkbox"/>	スマート (スマートズーム) (S Q)	画像サイズに応じて、画像が劣化しない範囲内にデジタルズーム倍率を制限します。[8M]、[3:2]のときは使用できません。 <ul style="list-style-type: none">・スマートズームの最大倍率は、下表をご覧ください。
	プレシジョン (プレシジョンデジタルズーム) (P Q)	画像サイズの設定に関わらず、最大6倍までデジタルズームしますが、画像は劣化します。
	切	デジタルズームを使わない。

スマートズームの画像サイズと最大倍率

画像サイズ	最大倍率
5M	約3.8倍
3M	約4.8倍
1M	約7.7倍
VGA(Eメール)	約15倍
16:9(HDTVサイズ)	約5.1倍

- ズームボタンを押すと、下記のようなズーム倍率が表示されます。



- スマートズーム/プレシジョンデジタルズームの最大倍率は、光学ズームの倍率を含みます。
- デジタルズーム時はAF測距枠は表示されません。■、□または■が点滅し、中央付近の被写体を優先したAF動作になります。
- スマートズーム時に画面の画像が粗く見える場合がありますが、撮影される画像には影響ありません。

日付/時刻

撮影時に画像に挿入する日付/時刻情報の形式を設定します。設定後、撮影します。

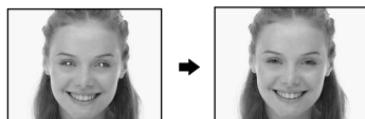
- 撮影時は日時は表示されず、DATEが表示されます。再生時に画面右下に赤色で表示されます。

	日時分(DATE)	撮影日時分を入れる。
	年月日(DATE)	撮影年月日を入れる。 • →別冊「はじめに」手順2で選んだ表示順に挿入されます。
☑ 切		日時を入れない。

- 動画、マルチ連写では、挿入できません。

- 挿入した日時は、後で消去できません。

赤目軽減



フラッシュ撮影時、目が赤く写るので抑制します。設定後、撮影します。

	入(○)	赤目軽減する。 • フラッシュが2回以上予備発光します。
☑ 切		赤目抑制しない。

- シャッターが切れるまで約1秒かかるので、カメラをしっかり構えて手ぶれを防いでください。また、被写体が動かないようにしてください。
- 赤目軽減の効果には個人差があります。また被写体までの距離や、予備発光を見ていないなど の条件によって、効果が表れにくいことがあります。

お買い上げ時の設定は \checkmark で示しています。

AFイルミネーター

AFイルミネーターとは、暗所でフォーカスを合わせるための補助光です。シャッターボタンを半押ししてフォーカスがロックされるまでの間、自動的に赤い補助光が出て、フォーカスを合わせやすくなります。このとき画面に EON が表示されます。

<input checked="" type="checkbox"/>	オート(EON)	AFイルミネーターを使う。
<input type="checkbox"/>	切	使わない。

- AFイルミネーターを発光しても、充分な光が被写体に届かない場合(推奨距離:約2m(ズーム:W)まで/約1.5m(ズーム:T)まで)やコントラストが弱い被写体を撮影する場合、フォーカスは合いません。
- AFイルミネーターの光が画像の中心からずれる場合がありますが、光が被写体に届いていれば、フォーカスは合います。
- フォーカスプリセット(30ページ)のとき、AFイルミネーターは使えません。
- AF測距枠は表示されません。 \blacksquare 、 \blacksquare または \blacksquare が点滅し、中央付近の被写体を優先したAF動作になります。
- シーンセレクションが N (夜景モード)、 L (風景モード)、 S (打ち上げ花火モード)に設定されているときは、AFイルミネーターは発光しません。
- AFイルミネーターは明るい光です。安全には問題ありませんが、至近距離で直接人の目に当たらないようにお使いください。

オートレビュー

静止画撮影直後に、記録した画像を約2秒間画面に表示します。

<input checked="" type="checkbox"/>	入	オートレビューを使う。
<input type="checkbox"/>	切	使わない。

- シャッターボタンを半押しすると記録画像の表示が消え、すぐに次の撮影ができます。

“メモリースティック デュオ”が本機に入っている場合は表示されません。

フォーマット

内蔵メモリーをフォーマット(初期化)します。

- フォーマットすると、プロテクトしてある画像も含めて、すべてのデータが消去され、元に戻せません。

「内蔵メモリーのデータがすべて消去されます よろしいですか？」というメッセージが表示される。

実行	フォーマットする。
キャンセル	フォーマットを中止する。

“メモリースティック デュオ”が本機に入っている場合のみ表示されます。

フォーマット

“メモリースティック デュオ”をフォーマット(初期化)します。市販の“メモリースティック デュオ”はフォーマット済みのため、フォーマットの必要はありません。

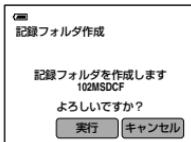
- フォーマットすると、プロテクトしてある画像も含めて、すべてのデータが消去され、元に戻せません。

「メモリースティックのデータがすべて消去されます よろしいですか?」というメッセージが表示される。

実行	フォーマットする。
キャンセル	フォーマットを中止する。

記録フォルダ作成

“メモリースティック デュオ”の中に新しいフォルダを作成します。



記録フォルダ作成画面が表示される。

実行	記録フォルダを作成する。既存番号+1のフォルダが作成され、次に撮影される画像は新しく作成したフォルダに記録される。
キャンセル	記録フォルダ作成を中止する。

- フォルダについては、48ページで説明しています。
- フォルダを新規作成していない場合は、「101MSDCF」フォルダが記録フォルダとして設定されます。
- フォルダは最高で「999MSDCF」まで作成できます。
- 画像は、違うフォルダを選ぶか、更に新しいフォルダを作成するまでそのフォルダに記録されます。
- 1度作成したフォルダを本機では削除できないため、パソコンなどで削除してください。
- 1つのフォルダに記録できる画像は最大4000枚のため、フォルダ容量を超えると、自動的に新しいフォルダが作成されます。
- 「画像ファイルの保存先とファイル名」(78ページ)もご覧ください。

記録フォルダ変更

画像を記録するフォルダを変更します。



記録フォルダ選択画面が表示される。

実行	記録フォルダを変更する。▲▼で記録フォルダを選び、[実行]をタッチする。
キャンセル	記録フォルダ変更を中止する。

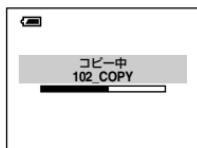
- ・「100MSDCF」フォルダは記録フォルダとして選べません。
- ・記録した画像を別のフォルダには移動できません。

コピー

内蔵メモリーまたはアルバムに記録した画像を、“メモリースティック デュオ”に一括コピーします。

内蔵メモリー	内蔵メモリー内の画像をコピーします。
アルバム	アルバム内の画像をコピーします。

- ① 32MB以上の容量のある“メモリースティック デュオ”を本体に入れる。
- ② 内蔵メモリー内の画像をコピーするときは[内蔵メモリー]を、アルバム内の画像をコピーするときは[アルバム]をタッチする。
「内蔵メモリー（アルバム）のデータがすべてコピーされます よろしいですか？」というメッセージが表示される。
- ③ [実行]をタッチする。
コピーが実行される。



- 充分に充電したバッテリーまたはACアダプター（別売り）をご使用ください。残量の少ないバッテリーを使用して画像ファイルをコピーすると、バッテリーカットのため、データを転送できなかったり、データを破損する恐れがあります。
- 画像ごとのコピーはできません。
- データをコピーしても、内蔵メモリーやアルバム内のデータは削除されません。内蔵メモリーやアルバムの内容を消去するには、コピー後に内蔵メモリーやアルバムの[フォーマット]を行ってください(60, 64ページ)。
- “メモリースティック デュオ”内のフォルダを選ぶことはできません。
- データのコピーを行っても、(プリント予約)マークの設定はコピーされません。
- アルバムからのコピーを行ったとき、プロテクトの設定はコピーされません。
- アルバム再生で表示される画像の順番が“メモリースティック デュオ”上にコピーされた画像の順番と一致しないことがあります。

お買い上げ時の設定は \checkmark で示しています。

書き込み

静止画を撮影するときに、小サイズの同一画像をアルバムに記録するかしないかを設定します。

<input checked="" type="checkbox"/>	入(	撮影時、小サイズの同一画像をアルバムに記録する。
	切	アルバムに記録しない。

- ・アルバムに記録される画像サイズは[VGA]、画質は[スタンダード]です。
- ・動画は記録されません。
- ・アルバムについて詳しくは、「アルバムの使いかた」(32ページ)をご覧ください。

フォーマット

アルバムをフォーマット(初期化)します。

- ・フォーマットすると、プロテクトしてある画像も含め、すべてのデータが消去され、元に戻せません。

「アルバムのデータがすべて消去されます よろしいですか?」というメッセージが表示されます。

実行	フォーマットする。
キャンセル	フォーマットを中止する。

アルバムチェック

「アルバムデータエラー」と画面上に表示されたら、アルバムチェックでデータを修復します。

実行	データを修復する。
キャンセル	アルバムチェックを中止する。

- ・アルバムチェックを行うと、プロテクトは解除されます。プロテクトが必要な画像には再度プロテクトをかけてください。

BGMダウンロード

スライドショーで使うBGMをダウンロードします。

37、83ページをご覧ください。

BGMフォーマット

スライドショーでBGMが再生できない場合は、BGMファイルが壊れている可能性があります。その場合は、BGMフォーマットを行ってから、付属のアプリケーション「Music Transfer」を使用して[BGMダウンロード]を行ってください。

- BGMファイルの書き込み領域をフォーマットすると、すべてのBGMファイルが消去され元に戻せません。

「すべてのデータが消去されます よろしいですか?」というメッセージが表示される。

実行	フォーマットする。BGM以外のデータは、そのまま保存されます。
キャンセル	フォーマットを中止する。

お買い上げ時の設定は \checkmark で示しています。

LCDバックライト

LCD(画面)バックライトの明るさを設定します(バッテリー使用時のみ)。

<input type="checkbox"/> 明	明るくする。
<input checked="" type="checkbox"/> 標準	

- ・[明]に設定すると、バッテリーの消耗は早くなります。

操作音

本機を操作したときに鳴るブザーを設定します。

<input type="checkbox"/> シャッター	シャッターボタンを押したときのみ、シャッター音が鳴る。
<input checked="" type="checkbox"/> 入	□(オンスクリーンキー)ボタン/シャッターボタンを押したときやタッチパネルを操作したときなどに、ブザー/シャッター音が鳴る。
<input type="checkbox"/> 切	音は鳴らない。

設定リセット

お買い上げ時の設定に戻します。

「すべての設定内容をリセットします よろしいですか?」というメッセージが表示される。

実行	設定をリセットする。
キャンセル	設定リセットを中止する。

- ・設定リセット中は電源が切れないようにご注意ください。

お買い上げ時の設定は▽で示しています。

ファイルナンバー

撮影画像のファイルナンバーの付けかたを設定します。

<input checked="" type="checkbox"/>	連番	記録フォルダを変更したり、“メモリースティック デュオ”を取り換えるても、ファイル番号を連続して付ける。 (取り換えた“メモリースティック デュオ”内に最新ファイルより大きな番号のファイルがある場合は、既存の最大番号+1のファイル番号を付ける。)
	リセット	フォルダごとにファイル番号を0001から付ける。(記録フォルダ内にファイルがある場合は、既存最大番号+1のファイル番号を付ける。)

USB接続

本機とパソコンまたはPictBridge対応プリンターをマルチ端子専用ケーブルで接続するときのモードを設定します。

	PictBridge	本機とPictBridge対応プリンターを接続する(89ページ)。
	PTP	PTP (Picture Transfer Protocol)接続すると、コピー ウィザードが自動的に起動し、本機に設定されている記録フォルダ内の画像をパソコンにコピーする。 (WindowsXP、Mac OSXに対応)
	Mass Storage	本機とパソコン、その他USB機器をMass Storage接続する(74ページ)。
<input checked="" type="checkbox"/>	オート	本機がパソコン、またはPictBridge対応プリンターを自動認識して接続する(74、89ページ)。 <ul style="list-style-type: none">・[オート]で本機とPictBridge対応プリンターを接続できない場合は、[PictBridge]に設定しなおしてください。・[オート]で本機とパソコン、その他USB機器を接続できない場合は、[Mass Storage]に設定しなおしてください。

- BGMのダウンロードは、[USB接続]の設定に関わらず、[BGMダウンロード] (65ページ)で接続できます。

ビデオ信号出力

接続するビデオ機器のカラーテレビ方式に合わせて設定します。

<input checked="" type="checkbox"/>	NTSC	ビデオ信号出力をNTSCモードに設定する(日本、米国など)。
	PAL	ビデオ信号出力をPALモードに設定する(欧州など)。

時計設定

時刻を再設定します。1/2画面で表示順を選び、2/2画面で時刻を設定します。

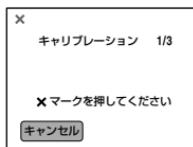
<input checked="" type="checkbox"/>	年/月/日	時刻を表示する順番を選ぶ。→をタッチして2/2画面で時刻を設定する。(→別冊「はじめに」手順2を行う。)
	月/日/年	
	日/月/年	

お買い上げ時の設定は \checkmark で示しています。

キャリブレーション

タッチパネルのボタンを押したとき、反応するボタンの位置にずれが生じことがあります。このような症状になったときキャリブレーションを行います。

スタイルスを使って画面に表示される×マークを押す。キャリブレーションを途中でやめるには[キャンセル]をタッチする。この場合、途中までの調整は反映されません。



×マークの位置は移動します。

正しい位置を押さなかった場合、キャリブレーションが行われません。×マークを押しなおしてください。

ハウジング

マリンパック装着時、ボタンの働きを変更します。

[]	入(変更する。
<input checked="" type="checkbox"/>	切	変更しない。

[ハウジング]を[入]にすることによって、下記のように変更します。

- (画面表示オン/オフ)ボタン:撮影時はフラッシュボタンになります。再生時は使えません。
- (ズーム)ボタン:撮影時はズームボタン、再生時は画像送り/戻しボタンになります。
 - ・[入]にすると、自動的にマクロ撮影になります。
 - ・詳しくは、マリンパックの取扱説明書をご覧ください。



パソコンで楽しむ

Windowsパソコンでできること

Macintoshについては、「Macintoshをお使いのときは」をご覧ください
(84ページ)。



まずはパソコンに画像を取り込もう！(72ページ)



画像をパソコンで見る

必要な準備

USB ドライバをインストールする。

- WindowsXP では不要です。

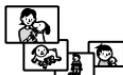
PicturePackageで活用の幅を広げよう！(81ページ)



パソコン内の画像を見る



CD-R に画像を保存する



Myビデオ & Myスライド
ショーを自動作成する



「Music Transfer」でスライドショー
のBGMを追加/入れ替える



プリントする

「PicturePackage」を
インストールする(81
ページ)。

ImageMixerでビデオCDづくりに挑戦！(81ページ)



ビデオCDを作成する

「ImageMixer VCD2」
は、「PicturePackage」
をインストールすると、
同時に自動でインス
トールされます。

パソコンの推奨環境

本機とつなぐパソコンは、下記の推奨環境が必要です。

画像を取り込むときの推奨環境

OS (工場出荷時にインストールされてい

ること): Microsoft Windows

98/98SE/2000 Professional/

Millennium Edition/XP Home

Edition/XP Professional

- 上記のOSでもアップグレードされた場合や、マルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。

CPU: MMX Pentium 200 MHz以上

USB端子: 標準装備

ディスプレイ: 800×600 ドット以上、

High Color (16 bitカラー、65000色)
以上

PicturePackage/ImageMixer VCD2 使用時の推奨環境

必要なソフトウェア: Macromedia

Flash Player 6.0以降、Windows

Media Player 7.0以降、DirectX

9.0b以降。

サウンドカード: 16 bitステレオサウンド
カードおよびスピーカー

メモリ: 64 MB以上(128 MB以上を推
奨)

ハードディスク: インストール時に必要
な容量: 約500 MB

ディスプレイ: 4 MBのVRAMを搭載し
たビデオカード(Direct Draw ドライ
バに対応)

- Myビデオ&Myスライドショーを自動作成する場合は(81ページ)、Pentium III 500 MHz以上のCPUが必要です。

- ImageMixer VCD2を使う場合は、Pentium III 800 MHz以上を推奨します。

- 本ソフトウェアはDirectXテクノロジーに対応しているため、DirectXのインストールが必要になることがあります。

- CD-Rに書き込みを行う場合には、記録デバイスを動作する環境が別途必要です。

パソコン接続についてのご注意

- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

- 1台のパソコンで2台以上のUSB機器を接続している場合、同時に使用するUSB機器によっては、本機が動作しないことがあります。

- USBハブ経由でご使用の場合は、動作保証いたしません。

- Hi-Speed USB (USB2.0準拠)のため、対応のUSBインターフェースに接続すると、高速な転送(high-speed転送)が行えます。

- パソコンと接続するときの本機のUSBモードには[オート](お買い上げ時の設定)、[Mass Storage]、[PTP]の3種類があります。ここでは[オート]および[Mass Storage]での使いかたを説明します。
[PTP]については、67ページをご覧ください。

- パソコンがサスペンド・レジューム機能、またはスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰できないことがあります。



デジタルイメージングカスタマーサポートのホームページでは、パソコンとの接続方法や最新サポート情報をご覧いただけます。
<http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/>

画像をパソコンに取り込む

ここでは、Windowsパソコンでの手順を説明します。

本機の画像をパソコンに取り込むには、下記の方法があります。

“メモリースティック”スロット付きパソコンの場合：

本機から“メモリースティック デュオ”を取りはずしてメモリースティック デュオ アダプターに入れ、パソコンに挿入して、画像データをコピーする。

“メモリースティック”スロットなしのパソコンの場合：

72～77ページ記載の操作1～5で、画像をパソコンにコピーできます。

- 画像の例は“メモリースティック デュオ”的画像をパソコンにコピーするときのものです。

パソコンとの接続方法や最新サポート情報は、デジタルイメージングカスタマーサポートのホームページをご覧ください。

 <http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/>

操作1：USB ドライバをインストールする

98 | 98SE | 2000 | Me

- ドライバとは、接続機器を正しく動かすためのソフトウェアです。
- Windows XPのときは、操作1は不要です。
- すでにパソコンに「PicturePackage」がインストールされている場合は、操作1は不要です。

ご注意：この時点では、本機をパソコンにつながないでください。

1 使用中のソフトウェアをすべて終了させる。

- Windows 2000は、Administrator(管理者権限)でログオンする。

2 CD-ROMをパソコンに入れ、インストール画面が表示されたら、「USB ドライバ」をクリック。



「Sony USB Driver用のInstallShield ウィザードへようこそ」画面が表示される。

- インストール画面が表示されないときは、□(マイコンピュータ)→○(PICTURE PACKAGE)の順にダブルクリック。

3 [次へ]をクリック。



USB ドライバのインストールが始まる。インストールが終了すると、「InstallShield ウィザードの完了」画面が表示される。

4 [はい、今すぐコンピュータを再起動します。]の○をクリックして①にし、[完了]をクリック。



パソコンが再起動して、本機とパソコンがUSB接続できるようになる。

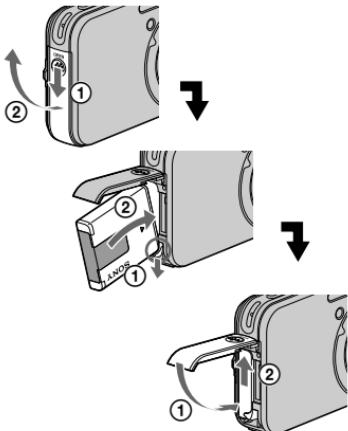
インストールが終了したら、パソコンからCD-ROMを取り出す。

操作2：本機とパソコンを準備する

1 画像を記録した“メモリースティック デュオ”を本機に入れる。

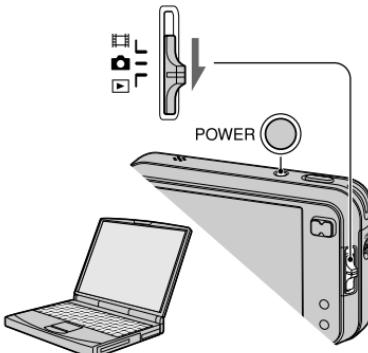
・内蔵メモリーの画像をコピーする場合は、手順1は不要です。

2 充分に充電したバッテリーを本機に入れる、または別売りのACアダプターで本機とコンセントをつなぐ。



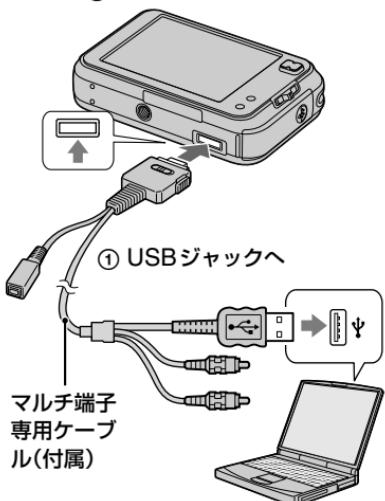
- ・残量が少ないバッテリーを使用して画像をコピーすると、バッテリー切れのため、データを転送できなかったり、データを破損する恐れがあります。

3 モードスイッチを「□」にして、本機とパソコンの電源を入れる。



操作3：本機とパソコンをつなぐ

② マルチ接続端子へ

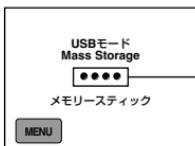


- 付属のマルチ端子専用ケーブルのスイッチを「CAMERA」に設定してください。



- Windows XP の場合は、パソコンの画面に自動再生ウィザードが表示されます。

本機の画面に「USB モード Mass Storage」と表示される。



初回接続時のみ、パソコンが本機を認識するための作業を自動的に行います。作業が終わるまでお待ちください。

- 通信中はアクセス表示が赤色になります。白色になるまで、パソコンの操作をしないでください。
- 画面に「USB モード Mass Storage」と表示されないときは、本機の[USB接続]を[Mass Storage]に設定してください(67ページ)。

操作4-A：画像をパソコンに取り込む

XP

- Windows 98/98SE/2000/Me 使用時：
→「操作4-B：画像をパソコンに取り込む」(76ページ)
- Windows XP 使用時で自動再生ウィザードが起動しない時：
→「操作4-B：画像をパソコンに取り込む」(76ページ)

ここでは、パソコンの「マイドキュメント」に画像を取り込む例を説明します。

1 「操作3」で接続完了後、パソコンで自動再生ウィザードが起動するので、[コンピュータにあるフォルダに画像をコピーする。Microsoftスキャナとカメラウィザード使用] → [OK]の順にクリック。



「スキャナとカメラウィザードの開始」画面が表示される。

2 [次へ]をクリック。

本機の“メモリースティック デュオ”に記録されている画像が表示される。

- ・“メモリースティック デュオ”が入っていないときは、内蔵メモリーの画像が表示されます。

3 パソコンにコピーしない画像のをクリックしてにし、[次へ]をクリック。



「画像の名前とコピー先」画面が表示される。

4 画像の名前とコピー先を指定し、[次へ]をクリック。



画像のコピーを開始します。画像のコピーが終了すると、「そのほかのオプション」画面が表示される。

- ・ここでは、画像のコピー先を「マイドキュメント」にしています。

5 [作業を終了する]の○をクリックして②にし、[次へ]をクリック。



「スキャナとカメラウィザードの完了」画面が表示される。

6 [完了]をクリック。

ウィザード画面が閉じる。

- ・続けて画像をコピーしたい場合は、78ページの手順で、マルチ端子専用ケーブルを1度抜いて、「操作3：本機とパソコンをつなぐ(74ページ)」から行う。

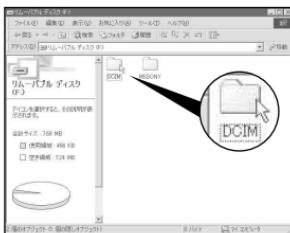
操作4-B：画像をパソコンに取り込む

98 | 98SE | 2000 | Me

- ・Windows XP使用時：→「操作4-A：画像をパソコンに取り込む」(74ページ)

ここでは、パソコンの「マイドキュメント」に画像を取り込む例を説明します。

1 [マイコンピュータ]→[リムーバブルディスク]→[DCIM]の順にダブルクリック。



- ・リムーバブルディスクが表示されないときは、103ページをご覧ください。

2 取り込みたい画像の入っているフォルダをダブルクリック。 次に、取り込みたい画像ファイルを右クリックしてメニューを表示し、[コピー]をクリック。



3 [マイドキュメント] フォルダをダブルクリックして開く。

次に、右クリックでメニューを表示し、[貼り付け]を選ぶ。



「マイドキュメント」フォルダに画像がコピーされる。

- ・コピー先に同じファイル名の画像があるときは、元の画像を上書きしてもよいかを確認するメッセージが表示されます。

上書きすると、元のファイルデータは消えます。上書きしない場合は、ファイル名を希望の名称に変更してからコピーします。ただし、ファイル名を変更する(80ページ)と本機で再生できなくなる場合があります。

操作5：パソコンで画像を見る

「マイドキュメント」に保存された画像を見ます。

1 [スタート]→[マイドキュメント]をクリック。



「マイドキュメント」フォルダの内容が表示される。

- ・Windows XP以外の場合は、デスクトップ画面上の[マイドキュメント]をダブルクリックする。

2 見たい画像ファイルをダブルクリック。



画像が表示される。

パソコンとの接続を切断するには

以下の操作を行いたいときは、ここで説明する手順をあらかじめ行ってください。

- ・マルチ端子専用ケーブルを抜く
- ・“メモリースティック デュオ”を取り出す
- ・内蔵メモリーからのコピーを終了して、“メモリースティック デュオ”を本機に入れる
- ・本機の電源を切る

■ Windows 2000/Me/XPの場合

- ①タスクトレイの をダブルクリック。



ここをダブルクリック

- ② (Sony DSC) → [停止] をクリック。
③ 取りはずすドライブを確認して、[OK] をクリック。
④ [OK] をクリック。

パソコンの接続が切断されました。

- ・Windows XPをお使いの方は、手順④は不要です。

■ Windows 98/98SEの場合

アクセス表示(74ページ)が白色になっていることを確認する。白色になつていれば、パソコンとの接続が切断されています。

画像ファイルの保存先とファイル名

本機で撮影した画像ファイルは、“メモリースティック デュオ”内のフォルダにまとめられています。

Windows XPの例



A フォルダ作成機能のないカメラで撮影した画像ファイルのフォルダ。

B 本機で撮影した画像ファイルのフォルダ。新しくフォルダ作成していない場合は、以下の通りです。

- “メモリースティック デュオ”：「101MSDCF」のみ
- 内蔵メモリー：「101_SONY」のみ

C フォルダ作成機能がないカメラで撮影した動画データなどのフォルダ。

- ・「100MSDCF」のフォルダには本機で画像を記録できません。再生のみ可能です。
- ・「MSSONY」フォルダは本機で記録/再生できません。
- ・画像ファイル名は、下記のようになります。
□□□□は0001～9999の半角数字、動画ファイルとそのインデックス画像ファイル名の数字部分は同じです。
 - 静止画ファイル:DSC0□□□□.JPG
 - 動画ファイル:MOV0□□□□.MPG
 - 動画撮影時に記録されるインデックス画像ファイル:MOV0□□□□.THM
- ・フォルダについては、48、61ページをご覧ください。

パソコン内の画像を本機で見る(“メモリースティック デュオ”使用)

ここでは、Windowsパソコンでの手順を説明します。

パソコンにコピー後、“メモリースティック デュオ”から消去した画像をもう1度本機で見るには、パソコンから“メモリースティック デュオ”に画像をコピーしてから本機で再生します。

- ・本機設定のファイル名を変更していない場合、手順1は必要ありません。
- ・画像サイズによっては再生できない画像があります。
- ・パソコンで画像を加工したファイルや、本機以外で撮影した画像は本機での再生を保証しません。
- ・フォルダがない場合は、まず本機でフォルダを作成してから(61ページ)画像ファイルのコピーを行ってください。

1 画像ファイルを右クリックし、[名前の変更]をクリックする。

ファイル名を「DSC0□□□□」に変更する。

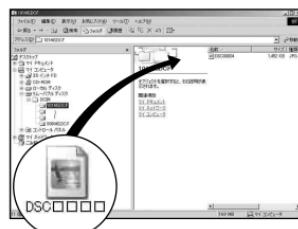
□□□□には、0001から9999までの半角数字を入れる。



- ・上書きの警告が出た場合は、別の数字を入れなおしてください。
- ・パソコンによっては、静止画の拡張子「JPG」、動画の拡張子「MPG」が表示されます。拡張子は変更しないでください。

2 下記の手順で、ファイルを“メモリースティック デュオ”内のフォルダにコピーする。

- ① 画像を右クリック→[コピー]をクリック。
 - ② [マイコンピュータ]内の[リムーバブルディスク]または[SonyMemoryStick]をダブルクリック。
 - ③ [DCIM] フォルダ内の[□□□ MSDCF] フォルダを右クリックし、[貼り付け]をクリック。
- ・□□□には、100～999までの半角数字が入る。



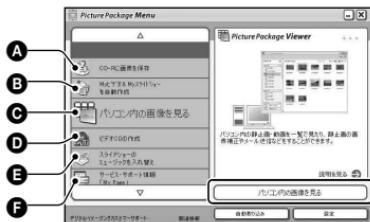
付属のソフトウェアで楽しむ

ここでは、Windowsパソコンの手順を説明します。

付属ソフトウェアのご紹介

付属のCD-ROMには、「PicturePackage」、「ImageMixer VCD2」の2つのソフトウェアが収録されています。

PicturePackage



【できること】

- Ⓐ CD-Rに画像を保存
 - Ⓑ Myビデオ&Myスライドショーを自動作成
 - Ⓒ パソコン内の画像を見る
 - Ⓓ ビデオCDの作成
ImageMixer VCD2の画面が表示されます。
 - Ⓔ 「スライドショーのミュージックを入れ替え」(Music Transfer)
 - Ⓕ サービス・サポート情報「My Page」
- 【各機能のはじめかた】
- Ⓐ～Ⓕのいずれかをクリックで選び、次に画面右下のボタンをクリックする。

ソフトウェアをインストールする

下記の手順で、「PicturePackage」/「ImageMixer VCD2」ソフトウェアをインストールします。

- Windows XP以外で、USB ドライバをインストール(72ページ)していない場合は、インストール前に本機をパソコンに接続しないでください。
- Windows 2000 の場合は Administrator (管理者権限)、Windows XPをお使いの場合はコンピュータの管理者権限でログオンしてください。
- 「PicturePackage」のインストールを行うと、USB ドライバのインストールも同時に行えます。
- Windows 98/ Windows 98SE で、DVgate Ver.2.3より以前のバージョンがインストールされているバイオに、DirectX 9以降の「DirectX」をインストールすると、DVgate や DVgate motion を正常に使用できません。
「PicturePackage」をインストールすると、同時に「DirectX 9」もインストールされるためです。
今後も DVgate を使用する場合は、「PicturePackage」をインストールしないようにご注意ください。

詳しくは下記URLをご覧ください。
<http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/>

1 パソコンの電源を入れた状態で、CD-ROM(付属)をCD-ROMドライブに入れる。

インストール画面が表示される。

- ・インストール画面が表示されないときは、 (マイコンピュータ) → (PICTURE PACKAGE) の順にダブルクリック。

2 [PicturePackage]をクリックする。



言語の選択画面が表示される。

3 [日本語]を選び、[次へ]を2回クリックする。

使用許諾画面が表示される。

内容をよく読み、「使用許諾契約の全条項に同意します」にチェックを入れ、[次へ]をクリック。

4 以降、画面の指示に従ってインストールを進める。

- ・「ImageMixer VCD2」、「DirectX」(インストールされていない場合のみ)も連続してインストールされます。
- ・パソコンの再起動を求める画面が表示されたら、画面の指示に従って再起動してください。

5 インストール後、デスクトップ上有「PicturePackage Menu」と「PicturePackage」保存先フォルダのショートカットが表示されたら、パソコンからCD-ROMを取り出す。

ソフトウェアを起動するには

デスクトップ上の[PicturePackage Menu]のアイコンをダブルクリック。

ソフトウェアの使いかたを調べるには
各画面右上の[?]をクリックして表示されるヘルプを参照する。

「Music Transfer」を使ってBGMの追加/入れ替えをする

「Music Transfer」を使って、出荷時から本機に用意されているBGMファイルをお好みの曲と入れ替えることができます。また、BGMファイルの削除や追加を行うこともできます。

「Music Transfer」で取り込むことができる曲の種類は下記のとおりです。

- ・パソコンのハードディスクに保存されたMP3ファイル
- ・音楽CDの曲
- ・工場出荷時に本機に保存されている曲。

1 ■(セットアップ)の[BGMダウンロード]をタッチする。

「PCと接続してください」というメッセージが表示される。

2 本機とパソコンをUSB接続する。

3 「Music Transfer」を起動する。

4 画面の操作手順に従って、BGMファイルの追加/入れ替えを行う。

- 出荷時に保存されていた曲を再び本機に戻すときは、
①[BGMフォーマット]を行う(65ページ)。
②「Music Transfer」で「すべて初期の曲に戻す」を実行する。
本機の曲がすべてお買い上げ時に設定されていた曲に戻り、「[スライドショー]」の[BGM]は[切]になる。
③[スライドショー]の[エフェクト]に適したBGMを選ぶ(36ページ)。
[設定リセット] (66ページ)をしてもお買い上げ時のBGM設定に戻すことができますが、同時に他の設定もお買い上げ時の設定に戻ります。
- 「Music Transfer」の詳しい使いかたについては、「Music Transfer」のヘルプをご覧ください。

PicturePackage/ ImageMixer
VCD2に関するお問い合わせ・サポートは、ピクセラユーザーサポートセンターに委託しています。

ピクセラユーザーサポートセンター

電話 : 06-6633-3900

受付時間 : 月～日 午前9時～午後5時
(ただし、年末、年始、祝日を除く。)

URL : <http://www.ppackage.com/>

Macintoshをお使いのときは

Macintoshに画像を取り込んで見たり、「ImageMixer VCD2」(付属)を使ってビデオCDを作成できます。さらに、「Music Transfer」(付属)を使ってスライドショーで再生するBGMをお好みの曲に入れ替えたりすることができます。

パソコンの推奨環境

画像を取り込む時の推奨環境

OS(工場出荷時にインストールされていること): Mac OS 9.1/9.2、Mac OS X(v10.0以降)

USB端子: 標準装備

- ・工場出荷時にQuickTime 6以降がインストールされていることを推奨します。

「ImageMixer VCD2」/

「Music Transfer」使用時の推奨環境

OS(工場出荷時にインストールされていること): 「ImageMixer VCD2」は Mac OS X (v10.1.5以降)、「Music Transfer」は Mac OS X (v10.3以降)

CPU: iMac、eMac、iBook、

PowerBook、Power Mac G3/G4/G5シリーズ、Mac mini

メモリ: 「ImageMixer VCD2」は 128MB以上(256MB以上を推奨)、「Music Transfer」は 64MB以上(128MB以上を推奨)

ハードディスク: インストール時に必要な容量: 約250 MB

ディスプレイ: 「ImageMixer VCD2」用に 1024×768 ドット以上、32000色以上

パソコン接続についてのご注意

- ・推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- ・1台のパソコンで2台以上のUSB機器を接続している場合、同時に使用するUSB機器によっては、本機が動作しないことがあります。
- ・USBハブ経由でご使用の場合は、動作保証いたしません。
- ・Hi-Speed USB (USB2.0準拠)のため、対応のUSBインターフェースに接続すると、高速な転送(high-speed転送)が行えます。
- ・パソコンと接続するときの本機のUSBモードには[オート] (お買い上げ時の設定)、[Mass Storage]、[PTP]の3種類があります。ここでは[オート]および[Mass Storage]での使いかたを説明します。
[PTP]については、67ページをご覧ください。
- ・パソコンがサスペンド・レジューム機能、またはスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰できないことがあります。



デジタルイメージングカスタマーサポートのホームページでは、パソコンとの接続方法や最新サポート情報をご覧いただけます。
<http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/>

画像を取り込んで見る

1 本機とMacintoshを準備する。

「操作2：本機とパソコンを準備する」(73ページ)と同じ準備をします。

2 マルチ端子専用ケーブルで接続する。

「操作3：本機とパソコンをつなぐ」(74ページ)と同じ操作で接続します。

3 画像ファイルをMacintoshにコピーする。

① [デスクトップ画面上の新しく認識されたアイコン] → [DCIM] → [取り込みたい画像の入ったフォルダ] の順にダブルクリック。

② 画像ファイルをハードディスクアイコンにドラッグ＆ドロップ。ハードディスクに画像ファイルがコピーされる。

・画像ファイルの保存先とファイル名について、78ページをご覧ください。

4 Macintoshで画像を見る

[ハードディスクアイコン] → [画像ファイル] の順にダブルクリックすると画像が開く。

パソコンとの接続を切断するには

以下の操作を行いたいときは、ここで説明する手順をあらかじめ行ってください。

- ・マルチ端子専用ケーブルを抜く
- ・“メモリースティック デュオ”を取り出す
- ・内蔵メモリーからのコピーを終了して、“メモリースティック デュオ”を本機に入れる
- ・本機の電源を切る

“メモリースティック デュオ”またはドライブのアイコンをゴミ箱にドラッグ＆ドロップする。

パソコンとの接続が切断されました。

- ・Mac OS X v.10.0の場合は、Macintoshの電源を切ってから作業を行う。

「ImageMixer VCD2」でビデオCDをつくる



- ・Macintosh版の「ImageMixer VCD2」ではディスクイメージ(ビデオCD形式でCD-Rに書き込みを行うためのデータ)作成までを行います。実際にビデオCD形式でCD-Rに保存する場合は、Roxio社のToast(別売り)が必要になります。

「ImageMixer VCD2」をインストールするには

- ・インストール前に使用中のソフトウェアをすべて終了させてください。
- ・ディスプレイの設定をあらかじめ
1024×768 ドット以上、32000色
モード以上にしてください。

- ① Macintoshに電源が入った状態で、
CD-ROM(付属)をディスクドライブ
に入れる。
- ② CD-ROMアイコンをダブルクリック。
- ③ 「MAC」フォルダの中の「IMXINST.
SIT」を任意のフォルダにコピー。
- ④ コピー先のフォルダの中の[IMXINST.
SIT]をダブルクリック。
- ⑤ コピー先のフォルダの中にある
ImageMixer フォルダ内の
[ImageMixerVCD2_Install]をダブ
ルクリック。
- ⑥ ユーザーの承認画面が表示されたら、
お好みの名前とパスワードを入力する。
ソフトウェアのインストールが始まる。

「ImageMixer VCD2」を起動するには

- ① [アプリケーション]の中から
[ImageMixer] フォルダを開く。
- ② [ImageMixer VCD2]をダブルクリッ
クする。

「ImageMixer VCD2」の使いかたを調 べるには

画面右上の[?]をクリックして表示さ
れるヘルプを参照する。

「Music Transfer」を使って BGMの追加/入れ替えをする

「Music Transfer」を使って、出荷時か
ら本機に用意されているBGMファイル
をお好みの曲と入れ替えることが可
能です。また、BGMファイルの削除や追
加を行うこともできます。

「Music Transfer」で取り込むこと可
能な曲の種類は下記のとおりです。

- ・パソコンのハードディスクに保存され
たMP3ファイル
- ・音楽CDの曲
- ・工場出荷時に本機に保存されている曲

「Music Transfer」をインストールす るには

- ・インストール前に使用中のソフトウェ
アをすべて終了させてください。
- ・インストールするにはコンピューター
の管理者権限が必要です。

- ① Macintoshに電源が入った状態で、
CD-ROM(付属)をディスクドライブ
に入れる。
- ② (PICTURE PACKAGE)をダブル
クリック。
- ③ [MAC] フォルダの中の[Music
Transfer.pkg]をハードディスクにコ
ピーする。
- ④ コピー先のフォルダの[Music
Transfer.pkg]をダブルクリック。
インストールが始まる。

BGMファイルの追加/入れ替えをするには

83ページの「BGMファイルを本機に追加/変更するには」をご覧ください。

ImageMixer VCD2/Music Transferに関するお問い合わせ・サポートは、ピクセラユーザーサポートセンターに委託しています。

ピクセラユーザーサポートセンター

電話 : 06-6633-3900

受付時間 : 月～日 午前9時～午後5時
(ただし、年末、年始、祝日を除く。)

URL : <http://www.ppackage.com/>



静止画をプリントする

静止画をプリントするには

[16:9 (HDTVサイズ)]で撮影した画像は、プリント時に両端が切れる場合があります。あらかじめご確認ください(106ページ)。

ダイレクトプリントする(PictBridge対応プリンター使用) (89ページ)



PictBridge対応プリンターに本機を直接接続してプリントします。

ダイレクトプリントする("メモリースティック"対応プリンター使用)



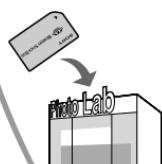
"メモリースティック"対応プリンターでプリントします。詳しくはプリンターの取扱説明書をご覧ください。

パソコンを使ってプリントする



付属のCD-ROM収録のソフトウェア「PicturePackage」を使って画像をパソコンに取り込んでから、プリントします。

お店でプリントする(93ページ)



プリントサービス店に、画像を撮影した "メモリースティック デュオ"を持参します。プリントしたい画像にあらかじめ (プリント予約)マークを付けておくこともできます。

ダイレクトプリントする(PictBridge対応プリンター使用)

PictBridge対応プリンターなら、本機で撮影した画像をパソコンなしでプリントできます。

PictBridge

- ・「PictBridge」は、「ピクトブリッジ」と読みます。カメラ映像機器工業会(CIPA)で制定された統一規格のことです。

シングルプリント

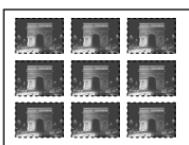
1枚のプリント用紙に1枚の画像をプリントします。



インデックスプリント

1枚のプリント用紙に複数の画像を縮小プリントします。1枚の画像を繰り返しプリントしたり(①)、選択した画像をインデックスプリント(②)できます。

①



②



- ・インデックスプリントはプリンターによっては対応していない場合があります。
- ・プリンターによって、1枚のインデックスプリントでプリントされる画像枚数は異なります。
- ・動画とアルバム内の画像はプリントできません。
- ・本機の画面で が約5秒間点滅したら(プリンターからのエラー通知)、接続しているプリンターを確認してください。

操作1：本機を準備する

本機とプリンターをUSB接続するために、本機を設定します。[USB接続]の[オート]モードで認識されるプリンターに接続する場合は、操作1は不要です。



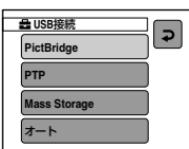
- ・プリントの途中で電源が切れないように、充分に充電したバッテリーまたはACアダプター(別売り)のご使用をおすすめします。

1 [MENU]をタッチし、メニューを表示する。

2 ▼をタッチし、[] (セットアップ)を表示する。

3 [] (設定3)の[USB接続]をタッチする。

4 [PictBridge]をタッチし、➡をタッチする。

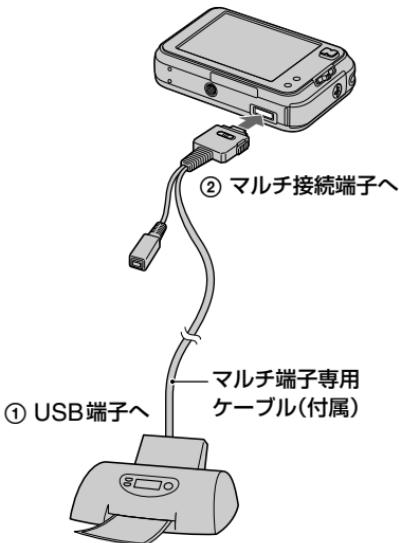


USB接続が設定される。

静止画をプリントする

操作2：本機とプリンターをつなぐ

付属のマルチ端子専用ケーブルで本機とプリンターを接続します。

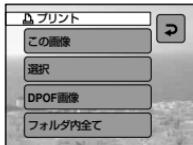


- 付属のマルチ端子専用ケーブルのスイッチを「CAMERA」に設定してください。



本機とプリンターの電源を入れる。

本機が再生モードになり、画像とプリントメニューが画面に表示される。



操作3：プリントする

モードスイッチの位置に関係なく、操作2が終わった時点で、画面にプリントメニューが表示されています。

1 希望のプリントの種類をタッチする。

[この画像]

表示されている画像をプリントする。

- この項目で【この画像】を選び、次の手順2の【インデックス】を【入】にすると、1枚の画像を繰り返しインデックスプリントします。

[選択]

画像を順に選ぶ。選んだすべての画像をプリントする。

- プリントしたい画像を◀/▶で選び、【選択】をタッチする。
選んだ画像に✓マークが付く。
- 他の画像も選ぶには、この手順を繰り返す。
- 【プリント】をタッチする。

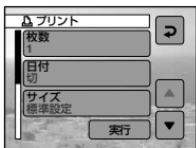
[DPOF画像]

表示されている画像と関係なく、（プリント予約）マーク（93ページ）が付いているすべての画像をプリントする。

[フォルダ内全て]

フォルダ内すべての画像をプリントする。

2 希望の項目をタッチして、プリント設定する。

**[枚数]**

- [インデックス]が[切]のとき：画像のプリント枚数を設定。シンプルプリントされます。
- [インデックス]が[入]のとき：選択した画像のインデックスプリント枚数を設定。手順1で[この画像]を選んだときは、同じ画像を1枚の用紙に並べる数になります。
- インデックスプリント時、画像の枚数によっては、1枚の用紙に指定枚数分の画像が収まらないことがあります。

[日付]

日付を挿入するときは[年月日]または[日時分]を選ぶ。

- [日付]で[年月日]を選んだ場合、→別冊「はじめに」手順2で選んだ表示順の年月日が挿入されます。ただし、プリンターによっては対応していない場合があります。

[サイズ]

用紙サイズを選ぶ。

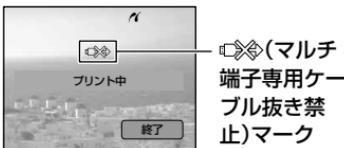
[インデックス]

インデックスプリントするときは[入]を選ぶ。

3 [実行]をタッチする。

画像がプリントされる。

- （マルチ端子専用ケーブル抜き禁止）マークが画面に表示されているときは、マルチ端子専用ケーブルを抜かないでください。



他の画像をプリントするには

手順3のあと、[選択]をタッチして画像を選び、手順1から行う。

ダイレクトプリントする(PictBridge対応プリンター使用) (つづき)

インデックス画面でプリントするには

「操作1：本機を準備する」(89ページ)と「操作2：本機とプリンターをつなぐ」(90ページ)のあと、以下を行ってください。

本機とプリンターを接続すると、プリントメニューが表示されます。■(オンスクリーンキー)ボタンを押してプリントメニューを消してから下記の手順を行ってください。

- ① □(インデックス)ボタンを押す。
インデックス画面が表示される。
- ② [MENU]をタッチする。
メニューが表示される。
- ③ [▲] (プリント)をタッチする。
- ④ 希望のプリント種類をタッチする。



[選択]

画像を順に選ぶ。選んだすべての画像をプリントする。

プリントしたい画像をタッチして✓マークを付ける。(他の画像も選ぶには、この手順を繰り返す。)

[DPOF画像]

表示されている画像と関係なく、□(プリント予約)マークが付いているすべての画像をプリントする。

[フォルダ内全て]

フォルダ内のすべての画像をプリントする。

- ⑤「操作3：プリントする」(90ページ)の手順2～3を行う。

お店でプリントする

画像を撮影した“メモリースティックデュオ”をプリントサービス店に持参します。DPOF規格対応のお店でプリントするときは、（プリント予約）マークを付けて、プリントしたい画像を本機であらかじめ予約できます。

- 内蔵メモリー内の画像は、プリントサービス店で直接カメラからプリントすることはできません。“メモリースティックデュオ”にコピーして、プリントサービス店にお持ちください。

DPOF（ディーアルフ）規格とは

Digital Print Order Formatの略です。（プリント予約）マークを付けて、プリントしたい画像を“メモリースティックデュオ”上に指定することができます。

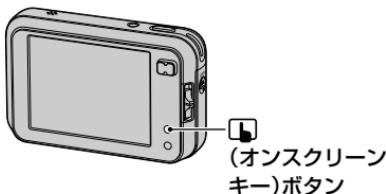
- DPOF対応プリンター、PictBridge対応プリンターでも、プリント予約マークを付けた画像をプリントできます。
- 動画はプリント予約マークが付けられません。
- マルチ連写で撮影した画像は、16分割された一枚の画像としてプリント予約マークが付きます。
- アルバム内の画像にプリント予約マークは付けられません。

お店に“メモリースティックデュオ”を持参するときには

- 対応している“メモリースティックデュオ”的種類はお店にお問い合わせください。
- “メモリースティックデュオ”に対応していないプリントサービス店の場合は、CD-Rなどに画像データをコピーして持参してください。
- メモリースティックデュオアダプターも持参してください。

- プリントサービス店をご利用前に、必ずデータのバックアップを取ってください。
- プリント枚数の設定はできません。

シングル画面でプリント予約マークを付ける



(オンスクリーンキー)ボタン

1 予約したい画像を表示する。

2 [MENU]をタッチし、メニューを表示する。

3 ▲/▼をタッチして[DPOF]を表示させ、タッチする。

4 [DPOF]をタッチする。

画像に（プリント予約）マークが付く。



5 他の画像にもマークを付けたいときは、◀/▶でマークを付けたい画像を表示させ、[DPOF]をタッチする。

静止画をプリントする

シングル画面でプリント予約マークを消すには

手順4または5で[DPOF]をタッチする。

インデックス画面でプリント予約マークを付ける

1 インデックス画面にする。(→別冊「はじめに」手順7)

2 [MENU]をタッチし、メニューを表示する。

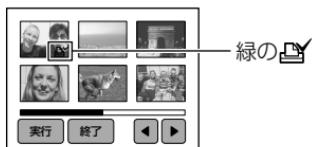
3 ▲/▼をタッチして[DPOF]を表示させ、タッチする。

4 [選択]をタッチする。

- ・[フォルダ内全て]では~~マーク~~マークが付けられません。

5 マークを付けたい画像をタッチする。

画像に緑色の~~マーク~~マークが付く。



6 他の画像にもマークを付けたいときは、手順5を繰り返す。

7 [実行]→[実行]の順にタッチする。

中止するには、手順5で[終了]、または手順7で[キャンセル]をタッチする。

インデックス画面でプリント予約マークを消すには

手順5でマークを消したい画像をタッチする。

フォルダ内の全画像の予約マークを消すには

手順4で[フォルダ内全て]を選び、次に[切]をタッチする。

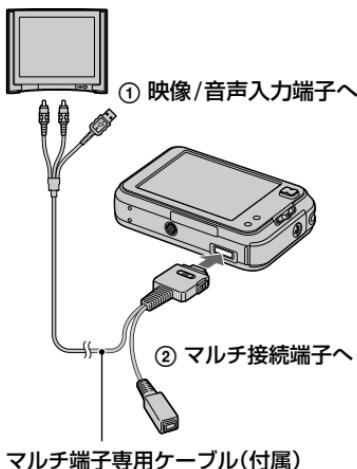


テレビにつなぐ テレビで見る

本機とテレビをつないで、撮影した画像をテレビで見ることができます。

本機とテレビの電源を切った状態で接続してください。

1 付属のマルチ端子専用ケーブルで本機とテレビを接続する。



マルチ端子専用ケーブル(付属)

- ・本機を置くときは、画面を上にする。
- ・テレビの音声入力端子がステレオタイプのときは、マルチ端子専用ケーブルの音声プラグ(黒)を左音声端子に接続する。

2 マルチ端子専用ケーブルのスイッチを「TV」にする。

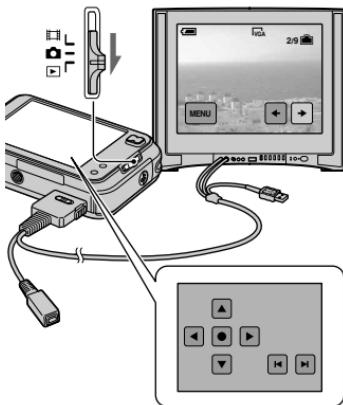


3 テレビの電源を入れ、テレビ/ビデオ切り換えスイッチを「ビデオ」にする。

- ・詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

4 本機のモードスイッチを「□」にして、電源を入れる。

モードスイッチ



撮影した画像がテレビに表示される。

本機の画面からは画像が消え、ボタンが表示される。

本機の◀/▶をタッチしてテレビに表示されている画像の送り/戻しをする。

メニューの操作は、本機の▲/▼/◀/▶をタッチしてカーソルを移動し、●で決定する。

- ・海外で見るときは[ビデオ信号出力]の切り換えが必要な場合があります(68ページ)。



困ったときは 故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

- ① 97～108ページの項目をチェックし、本機を点検する。

画面に「C/E : □□ : □□」のような表示が出たときは、109ページをご覧ください。

- ② バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。

- ③ 設定リセットをする(66ページ)。

- ④ デジタルイメージングカスタマーサポートのホームページで確認する。

<http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/>

- ⑤ テクニカルインフォメーションセンターに電話で問い合わせる(裏表紙)。

- ・内蔵メモリーやアルバム、BGM機能を搭載した機種を修理に出した場合、内蔵メモリーやアルバム、BGMの内容を確認させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

バッテリー・電源

本機にバッテリーを入れられない。

- ・バッテリーの先端でバッテリー取りはずしつまみをカメラ下部側に押して入れる(→別冊「はじめに」手順1)。
- ・正しい向きに入れる(→別冊「はじめに」手順1)。

バッテリーの残量表示が正しくない。またはバッテリー残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる。

- ・温度が極端に高いまたは低いところで使用しているときの現象です(115ページ)。
- ・残量表示と実際の残量にズレが生じています。バッテリーを1度使い切ってから充電すると正しい表示に戻ります。
- ・バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを取り付ける(→別冊「はじめに」手順1)。
- ・バッテリーの寿命です(115ページ)。新しいバッテリーと交換する。

バッテリーの消耗が早い。

- ・充分に充電する(→別冊「はじめに」手順1)
- ・温度が極端に低いところで使用しているときの現象です(115ページ)。
- ・バッテリー端子が汚れていると、充電が充分できません。綿棒などで掃除する。
- ・バッテリーの寿命です(115ページ)。新しいバッテリーと交換する。

電源が入らない。

- ・バッテリーが正しく取り付けられているか確認する(→別冊「はじめに」手順1)。
- ・バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを取り付ける(→別冊「はじめに」手順1)。
- ・バッテリーの寿命です(115ページ)。新しいバッテリーと交換する。

電源が途中で切れる。

- ・操作しない状態が3分以上続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れる。電源を入れなおす(→別冊「はじめに」手順2)。
- ・バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを取り付ける(→別冊「はじめに」手順1)。

静止画/動画を撮る

撮影できない。

- 内蔵メモリーまたは“メモリースティック デュオ”的空き容量を確認する(21、22ページ)。いっぱいのときは、下記のいずれかを行う。
 - 不要な画像を削除する(→別冊「はじめに」手順7)。
 - “メモリースティック デュオ”を交換する。
- “メモリースティック デュオ”的誤消去防止スイッチを解除する(113ページ)。
- フラッシュ充電中は撮影できません。
- 静止画撮影時は、モードスイッチを[]にする。
- 動画撮影時は、モードスイッチを[]にする。
- 動画撮影時、画像サイズが[640 (ファイン)]になっているときは、下記いずれかを行う。
 - 画像サイズを[640 (ファイン)]以外にする。
 - “メモリースティック PRO デュオ”を入れる(113ページ)。

画面に被写体が写らない。

- モードスイッチを[]以外にする(25ページ)。

撮影に時間がかかる。

- NRスローシャッター機能が働いている(17ページ)。故障ではありません。

ピント(フォーカス)が合わない。

- 被写体が近すぎるためです。近接(マクロ)撮影モードにし、最短撮影距離(W側約6cm、T側約34cm)より離して撮影する(→別冊「はじめに」手順6)。
- 静止画撮影時、シーンセレクションの (夜景モード)、 (風景モード)、 (打ち上げ花火モード)が選ばれていると、ピントが合わない場合があります。
- フォーカスプリセットになっているときは、オートフォーカスに戻す(30ページ)。

光学ズームができない。

- 動画撮影中はズーム倍率を変更できません。

プレシジョンデジタルズームができない。

- [デジタルズーム]を[プレシジョン]にする(57ページ)。
- 動画撮影時はプレシジョンデジタルズームできません。

スマートズームができない。

- ・[デジタルズーム]を[スマート]にする(57ページ)。
- ・下記のとき、スマートズームできません。
 - 画像サイズが[8M]、[3:2]
 - マルチ連写時
 - 動画撮影時

フラッシュ撮影ができない。

- ・フラッシュの設定が④(発光禁止)になっている(→別冊「はじめに」手順6)。
- ・以下のときは、フラッシュ撮影できません。
 - [Mode] (撮影モード)が[連写]または[マルチ連写]のとき(44ページ)
 - シーンセレクションの N (夜景モード)、 L (キャンドルモード)、 F (打ち上げ花火モード)が選ばれているとき(26ページ)
 - モードスイッチが A のとき
- ・シーンセレクションの P (風景モード)、 S (スノーモード)、 R (ビーチモード)が選ばれているときは、 F (強制発光)にする(26ページ)。

フラッシュ撮影した画像に、ぼんやりとした丸い斑点が写っている。

- ・空気中のホコリがフラッシュの強い光に反射して写りこんだためです。故障ではありません。

近接(マクロ)撮影ができない。

- ・シーンセレクションの N (夜景モード)、 P (風景モード)、 L (キャンドルモード)、 F (打ち上げ花火モード)が選ばれているときは、近接(マクロ)撮影できません(26ページ)。

正しい撮影日時が記録されない。

- ・日付・時刻を合わせる(→別冊「はじめに」手順2)。

シャッターを半押しするとF値、シャッタースピードが点滅する。

- ・露出が合っていません。露出補正する(28ページ)。

画像が暗い。

- ・逆光になっています。測光モード選択(42ページ)、または露出補正(28ページ)する。
- ・画面が暗いときは、LCDバックライトの明るさを調節する(66ページ)。

画像が明るい。

- ・舞台など暗いところでスポットライトが当たっている状態で撮影しています。露出補正する(28ページ)。
- ・画面が明るすぎるときは、LCDバックライトの明るさを調節する(66ページ)。

画像の色が正しくない。

- ピクチャーエフェクトを解除する(46ページ)。

明るい被写体を写すと、縦に尾を引いたような画像になる。

- スミアという現象です。故障ではありません。

暗い場所で画面を見ると画像にノイズが目立つ。

- 暗い場所でも確認できるように、画面を一時的に明るくする機能が働いています。撮影される画像には影響ありません。

被写体の目が赤く写る。

- 赤目軽減モードにする(58ページ)。
- 被写体に近づいてフラッシュ推奨撮影距離内(→別冊「はじめに」手順6)で撮影する。
- 室内を明るくして撮影する。

画面に点が現れて消えない。

- 故障ではありません。これらの点は記録されません(9ページ、→別冊「はじめに」)。

連写できない。

- 内蔵メモリーまたは“メモリースティック デュオ”的容量がいっぱいです。不要な画像を削除する(→別冊「はじめに」手順7)。
- バッテリーの残量が足りない。充電されたバッテリーを取り付ける。

画像を見る

「パソコン」(102ページ)もあわせてご覧ください。

再生できない。

- モードスイッチを「■」にする(25ページ)。
- パソコンでフォルダ/ファイルの名前を変更したためです(80ページ)。
- パソコンで画像を加工したファイルや、本機以外で撮影した画像は本機での再生は保証いたしません。
- USBモードになっています。USB接続を終了する(78ページ)。

表示直後に再生画像が粗い。

- 画像処理のため、表示直後は画像が粗くなります。故障ではありません。

テレビに画像が出ない。

- ・[ビデオ信号出力]が[NTSC]になっているか確認する(68ページ)。
- ・接続が正しいか確認する(95ページ)。
- ・マルチ端子専用ケーブルのスイッチが「CAMERA」に設定されている。「TV」に設定しなおす(95ページ)。

画面に画像が出ない。

- ・マルチ端子専用ケーブルのスイッチが「TV」に設定されている。ケーブルをはずすか、スイッチを「CAMERA」に設定しなおす(74、90ページ)。

画像を削除する/編集する

削除できない。

- ・画像のプロテクトを解除する(50ページ)。
- ・誤消去防止スイッチのある“メモリースティック デュオ”を使用し、スイッチが「LOCK」になっている。解除してください(113ページ)。

誤って消してしまった。

- ・1度削除した画像は元に戻せません。画像にプロテクトをかける(49ページ)か、誤消去防止スイッチのある“メモリースティック デュオ”を使用し、スイッチを「LOCK」にする(113ページ)と誤消去を防げます。

リサイズができない。

- ・動画、マルチ連写、アルバム内の画像はリサイズできません。

プリント予約マークが付かない。

- ・動画とアルバム内の画像にはプリント予約マークを付けられません。

動画を分割できない。

- ・充分な長さ(約2秒間)のない動画は分割できません。
- ・画像のプロテクトを解除する(49ページ)。
- ・静止画は分割できません。

ペイントできない。

- ・アルバム画像にはペイントできません。
- ・空き容量が少ないため、不要な画像を削除する。

パソコン

パソコンとの接続方法や最新サポート情報はデジタルイメージングカスタマーサポートのホームページをご覧ください。

 <http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/>

対応しているOSが分からない。

- ・「パソコンの推奨使用環境」を確認する(71、84ページ)。

USB ドライバをインストールできない。

- ・Windows 2000を使用している場合は、Administrator(管理者権限)でログオンする(72ページ)。

USB接続をしたとき、本機の画面に何も表示されない。

- ・マルチ端子専用ケーブルのスイッチが「TV」に設定されている。「CAMERA」に設定しなおす(74ページ)。

本機がパソコンに認識されない。

- ・本機の電源が入っているか確認する(→別冊「はじめに」手順2)。
- ・バッテリー残量が少ないときは、充電されたバッテリーを取り付ける(→別冊「はじめに」手順1)、またはACアダプター(別売り)を使用する(15ページ)。
- ・接続には、付属のマルチ端子専用ケーブルを使う(74ページ)。
- ・1度パソコンと本機からマルチ端子専用ケーブルを抜いて再びしっかりと差し込み、「USBモード Mass Storage」と表示されているか確認する(74ページ)。
- ・[USB接続]を[Mass Storage]にする(67ページ)。
- ・パソコンのUSB端子に、本機/キーボード/マウス以外の機器が接続されているときは、取りはずす。
- ・USBハブ経由などでなく、本機とパソコンを直接接続する(74ページ)。
- ・USB ドライバがインストールされていないときは、インストールする(72ページ)。
- ・CD-ROM(付属)から「USB ドライバ」をインストールする前に、マルチ端子専用ケーブルで本機とパソコンを接続したため、デバイスが正しく認識されていない。正しく認識されなかったデバイスを削除してからUSB ドライバをインストールする(次の項目)。

本機とパソコンをUSB接続しても、パソコン画面に「リムーバブルディスク」が表示されない。

- 下記の手順をパソコンで行い、USBドライバをインストールします。

以下は、Windowsパソコンの手順です。

- [マイコンピュータ]を右クリックしてメニューを表示し、[プロパティ]をクリック。
「システムのプロパティ」画面が表示される。
 - [ハードウェア]タブ→[デバイスマネージャ]の順にクリック。
・Windows98/98SE/Meをお使いの場合は、[デバイスマネージャ]タブをクリック。
「デバイスマネージャ」が表示される。
 - [Sony DSC]を右クリックし、[削除]→[OK]の順にクリック。
デバイスが削除される。
 - USBドライバをインストールする(72ページ)。
-

画像をコピーできない。

- 本機とパソコンを正しくUSB接続する(74ページ)。
 - OSに対応した手順でコピーする(72、84ページ)。
 - パソコンでフォーマットした“メモリースティック デュオ”で撮影した場合、画像をパソコンへコピーできないことがあります。本機でフォーマットした“メモリースティック デュオ”で撮影する(61ページ)。
-

USB接続をしたときに「PicturePackage」が自動起動しない。

- 「PicturePackage Menu」を起動し、[設定]を確認する。
 - パソコンの電源を入れた状態でUSB接続をする(72ページ)。
-

画像を再生できない。

- 「PicturePackage」をお使いの場合は、各画面右上のヘルプをご覧ください。
 - パソコンメーカーまたはソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
-

動画を再生すると画像や音が途切れる。

- 内蔵メモリーまたは“メモリースティック デュオ”から直接再生すると、画像や音が途切れます。パソコンのハードディスクに動画をコピーして、ハードディスクのファイルを再生する(72ページ)。
-

画像をプリントできない。

- プリンターの設定を確認する。
-

パソコンからコピーした画像ファイルが本機で見られない。

- 101MSDCFなど本機で認識するフォルダにコピーする(78ページ)。
- 正しい手順で操作する(80ページ)。

「Music Transfer」が本機を認識しない。

- 本機のBGMを書き込む領域が壊れている。本機で[BGMフォーマット] (65ページ)を行ってください。

“メモリースティック デュオ”

本機に入らない。

- 正しい向きで入れる(→別冊「はじめに」手順3)。

記録できない。

- 誤消去防止スイッチのある“メモリースティック デュオ”を使用し、スイッチが「LOCK」になっている。解除してください(113ページ)。
- “メモリースティック デュオ”的容量がいっぱいになっているときは、不要な画像を削除する(→別冊「はじめに」手順7)。
- 動画を画像サイズ「640 (ファイン)」で撮影するときは、“メモリースティック PRO デュオ”を使用する(21ページ)。

フォーマットできない。

- 誤消去防止スイッチのある“メモリースティック デュオ”を使用し、スイッチが「LOCK」になっている。解除してください(113ページ)。

誤ってフォーマットしてしまった。

- “メモリースティック デュオ”内のデータはすべて消去され、元に戻せません。誤消去防止スイッチのある“メモリースティック デュオ”を使用し、スイッチを「LOCK」にする(113ページ)と誤フォーマットを防げます。

“メモリースティック”スロット付きパソコンで“メモリースティック PRO デュオ”が認識されない。

- パソコンおよびカードリーダーが“メモリースティック PRO デュオ”に対応しているかご確認ください。ソニーバイオをお使いの場合、サイバーショットのサポートページをご覧いただきますと対応の有無がご確認できます(裏表紙)。ソニー製以外のパソコンおよびカードリーダーをお使いの場合は、各メーカーにお問い合わせください。
- “メモリースティック PRO デュオ”非対応の場合は、本機をパソコンにつないでください(72~77ページ)。パソコンが“メモリースティック PRO デュオ”を認識します。

内蔵メモリー

内蔵メモリー内のデータが本機、またはパソコンで再生できない。

- ・本機に“メモリースティック デュオ”が入っている。取りはずす(→別冊「はじめに」手順4)。

撮影した画像を内蔵メモリーに記録することができない。

- ・本機に“メモリースティック デュオ”が入っている。取りはずす(→別冊「はじめに」手順4)。

内蔵メモリーのデータを“メモリースティック デュオ”にコピーしたのに、内蔵メモリーの容量が減らない。

- ・データをコピーしても、内蔵メモリー内のデータは削除されません。コピー後に改めて内蔵メモリーの[フォーマット]を行う(60ページ)。

内蔵メモリー内のデータを“メモリースティック デュオ”にコピーできない。

- ・“メモリースティック デュオ”的空き容量がない。空き容量を確認する(32MB以上推奨)。

“メモリースティック デュオ”やパソコンの画像を内蔵メモリーにコピーできない。

- ・“メモリースティック デュオ”やパソコンの画像は内蔵メモリーにコピーできません。

アルバム

アルバムのデータを“メモリースティック デュオ”にコピーしたのに、アルバムの空き容量が増えない。

- ・データをコピーしても、アルバム内のデータは削除されません。

アルバム内のデータを“メモリースティック デュオ”にコピーできない。

- ・“メモリースティック デュオ”的空き容量がない。空き容量を確認する(32MB以上推奨)。

“メモリースティック デュオ”やパソコンの画像をアルバムにコピーできない。

- ・“メモリースティック デュオ”やパソコンの画像はアルバムにコピーできません。

撮影した画像をアルバムに記録することができない。

- ・ (セットアップ)の[書き込み]が[切]になっている。[入]にする(64ページ)。
- ・アルバムの容量が、プロテクトされた画像でいっぱいになっている。不要な画像のプロテクトを解除してください(50ページ)。

プリントする

次の「PictBridge対応プリンター」も合わせてご覧ください。

両端が切れてプリントされる。

- ・画像サイズを[16:9 (HDTVサイズ)]に設定して撮影した画像をプリントすると、画像の両端が切れてプリントされることがあります。
- ・お手持ちのプリンターでプリントする場合は、あらかじめトリミングやふちなし印刷機能を解除しておいてください。機能の有無は、プリンターのメーカーにお問い合わせください。
- ・お店でプリントする場合は、画像の両端が切れないようにプリントできるかどうか、あらかじめお店にお問い合わせください。

PictBridge対応プリンター

プリンターと接続できない。

- ・本機は、PictBridge非対応プリンターには直接接続できません。対応の有無は、プリンターのメーカーにお問い合わせください。
- ・プリンターの電源が入り、接続可能な状態になっていることを確認する。
- ・ (セットアップ) の [USB接続] を [PictBridge] にする (67 ページ)。
- ・マルチ端子専用ケーブルを抜いて、接続しなおす。プリンターにエラー表示が出ている場合は、プリンターの取扱説明書をご覧ください。

USB接続をしたとき、本機の画面に何も表示されない。

- ・マルチ端子専用ケーブルのスイッチが「TV」に設定されている。「CAMERA」に設定しなおす (90 ページ)。

プリントできない。

- ・本機とプリンターがマルチ端子専用ケーブルで正しく接続されているか確認する。
- ・プリンターの電源が入っているか確認する。詳しくはプリンターの取扱説明書をご覧ください。
- ・プリント中に「終了」を選ぶと、再びプリントできない場合があります。マルチ端子専用ケーブルを抜いて、接続しなおす。それでも復帰しないときは、マルチ端子専用ケーブルをもう一度抜き、プリンターの電源を入れなおしてから接続しなおす。
- ・動画とアルバム内の画像はプリントできません。
- ・本機以外で撮影した静止画、またはパソコンで加工した画像はプリントできない場合があります。

プリントが中断される。

-  (マルチ端子専用ケーブル抜き禁止)マークが消える前に、マルチ端子専用ケーブルを抜いた。

日付挿入/インデックスプリントができない。

- プリンターが日付挿入/インデックスプリントに対応していない。対応の有無は、プリンターのメーカーにお問い合わせください。
- プリンターによっては、インデックスプリントでは日付が挿入されない場合があります。プリンターのメーカーにお問い合わせください。

日付部分に「---- - - -」などが印刷される。

- 画像ファイルに印刷可能な撮影日時情報が入っていない。[日付]を[切]にしてプリントしてください(91ページ)。

プリントしたい用紙サイズが選択できない。

- プリンターがプリントしたい用紙サイズに対応しているか、プリンターのメーカーにお問い合わせください。
- 本機とプリンターを接続したあとにプリンターの用紙を別のサイズの用紙と取り換えた場合は、1度マルチ端子専用ケーブルを抜いてプリンターを接続しなおしてください。
- 本機での印刷設定と、プリンターの設定が合っていない。本機の用紙サイズ設定を変更する(91ページ)か、プリンターの用紙設定を変更する。

印刷を中止すると、他の操作ができない。

- プリンターが印刷中止の処理をしているので、しばらくお待ちください。プリンターによっては時間がかかることがあります。

その他

操作を受け付けない。

- ・本機で使えるバッテリーを使う(115ページ)。
- ・表示時は、バッテリー残量が少ない。充電する(→別冊「はじめに」手順1)。

電源が入っているのに操作できない。

- ・内部システムが誤動作しています。バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。

タッチパネルのボタンが表示されない。

- ・ (オンスクリーンキー)ボタンを押す。

タッチパネルのボタンが操作できない/正しく操作できない。スタイラスのペンをあてた位置がずれて表示される。

- ・画面を調節([キャリブレーション])する(69ページ)。

ボタンが正しく操作できない。

- ・[ハウジング]が[入]になっている(69ページ)。

画面上の表示が分からぬ。

- ・16ページをご覧ください。

レンズがくもる。

- ・結露している。電源を切って約1時間そのままにしてから使用する(118ページ)。

長時間使用すると、本機が熱くなる。

- ・故障ではありません。

電源を入れると、時刻設定画面が表示される。

- ・時刻を設定しなおす(→別冊「はじめに」手順2)。

自己診断表示と警告表示

自己診断表示

画面にアルファベットで始まる表示が出たら、本機の自己診断機能が働いています。表示の末尾2桁(□□)の数字は、本機の状態によって変わります。

下記の対処を2、3度繰り返しても正常な状態に戻らないときは、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください(裏表紙)。

C:32:□□

- ・ハードウェアの異常。電源を入れなおす。

C:13:□□

- ・データが読めない/書けない。“メモリースティック デュオ”を数回抜き差しする。
- ・内蔵メモリーがフォーマットエラーのままである。または、フォーマットしていない“メモリースティック デュオ”を入れた。フォーマットする(60、61ページ)。
- ・本機では使えない“メモリースティック デュオ”を入れた。またはデータが壊れている。“メモリースティック デュオ”を交換する(113ページ)。

E:61:□□

E:91:□□

- ・何らかの異常が起きている。設定リセット(66ページ)してから、電源を入れる。

警告表示

画面には、次のような表示が出ることがあります。



- ・バッテリーの残量が少ない。バッテリーを充電する(→別冊「はじめに」手順1)。ご使用状況やバッテリーの種類によっては、バッテリー残量が5分から10分でも点滅することがあります。

このバッテリーは使えません

- ・NP-BG1以外のバッテリーを使っている。

システムエラー

- ・電源を入れなおす(→別冊「はじめに」手順2)。

内蔵メモリーエラー

- ・電源を入れなおす(→別冊「はじめに」手順2)。

メモリースティックを入れなおしてください

- ・“メモリースティック デュオ”を入れなおす。
- ・本機では使えない“メモリースティック デュオ”が入っている(113ページ)。
- ・“メモリースティック デュオ”が壊れている。
- ・“メモリースティック デュオ”端子が汚れている。

困ったときは

非対応のメモリースティックです

- 本機では使えない“メモリースティック デュオ”が入っている(113ページ)。

フォーマットエラー

- フォーマットしなおす(60、61ページ)。

メモリースティックがロックされています

- 誤消去防止スイッチのある“メモリースティック デュオ”を使用し、スイッチが「LOCK」になっている。解除してください(113ページ)。

内蔵メモリーの残量がありません

メモリースティックの残量がありません

- 不要な画像やデータを消去する(→別冊「はじめに」手順7)。

読み出し専用のメモリースティックです

- この“メモリースティック デュオ”への画像記録や消去はできません。

ファイルがありません

- 内蔵メモリー内に画像が記録されていない。

このフォルダにはファイルがありません

- フォルダ内に画像が記録されていない。
- パソコンからのファイルコピー方法が正しくない(80ページ)。

フォルダエラー

- 上3桁の番号が同じフォルダが“メモリースティック デュオ”内にある。(例：123MSDCFと123ABCDE)。別のフォルダを選択するか、フォルダを作成する(61ページ)。

これ以上フォルダ作成できません

- 上3桁の番号が「999」のフォルダが“メモリースティック デュオ”内にある。本機でこれ以上のフォルダを作成できません。

記録できません

- 本機で記録フォルダに設定できないフォルダを選択した。他のフォルダを選択する(62ページ)。

ファイルエラー

- 画像再生時に異常が発生した。

ファイルがプロテクトされています

- プロテクトを解除する(50ページ)。

画像サイズオーバーです

- 本機で再生できないサイズの画像を再生しようとしている。

分割できません

- 分割できる充分な長さ(約2秒以上)がない。
- 動画ではない。

無効な操作です

- 本機以外で作成したファイルを再生しようとしている。
- 動画で、拡大、ペイント、リサイズ、回転、プリント、プリント予約しようとしている。
- マルチ連写で、拡大、ペイント、リサイズ、回転しようとしている。
- 撮影した画像をテレビに映してペイントしようとしている。
- サイバーショットステーションのリモコンでペイントしようとしている。

¶ (手ぶれ警告表示)

- 光量不足のため、手ぶれが起こりやすい状況になっているので、フラッシュを使用する。または、三脚などで本機をしっかりと固定する。

640 (ファイン)に対応していません

- [640 (ファイン)]の動画に対応しているのは“メモリースティック PRO デュオ”のみ。“メモリースティック PRO デュオ”を入れるか、画像サイズを[640 (ファイン)]以外に設定する。

接続先を確認してください

- 本機の設定が[PictBridge]になっているのに、PictBridgeに対応していない機器と接続している。接続している機器を確認する。
- 接続が確立できない。マルチ端子専用ケーブルを抜いて、接続しなおす。プリンターにエラー表示が出ている場合は、プリンターの取扱説明書をご覧ください。

PictBridge 機器と接続してください

- プリンターと接続する前にプリントしようとした。PictBridge対応のプリンターと接続する。

プリントできる画像がありません

- プリント予約マークを付けないで[DPOF画像]を実行しようとした。
- 動画しか入っていないフォルダを選んで、[フォルダ内全て]を実行しようとした。動画はプリントできません。

プリンタービジー

用紙エラー

用紙がなくなりました

インクエラー

インクが少なくなりました

インクがなくなりました

- プリンターを確認する。

プリンターエラー

- プリンターを確認する。
- プリントしたい画像が壊れていないか確認する。

□□□

- 接続しているプリンターへのデータ転送が完了していない可能性がある。マルチ端子専用ケーブルを抜かないでください。

処理中

- プリンターが印刷中止処理を行っている。処理が完了するまでは印刷できません。プリンターによっては処理に時間がかかることがあります。

アルバムデータエラー

- アルバムデータに異常が発生した。アルバムをチェックする(64ページ)。

アルバムエラー

- アルバム領域にエラーがある。電源を入れなおしてください。その後も表示されるようなら、アルバムのフォーマットをしてください。(この際、アルバムの中身が、プロテクトされている画像を含め全て消えてしまうのでご注意ください。)

スライドショーできる画像がありません

- BGM付きスライドショー時に、スライドショーできるファイルが存在しないフォルダを選択している。

BGM エラー

- 選択したBGMデータを削除するか、正常なデータと入れ替える。
- BGMフォーマットをしてから、正常なデータをダウンロードする(65ページ)。

操作方法が変更となります

- ハウジングモードになっている(69ページ)。

BGM フォーマットエラー

- BGMフォーマットしなおす(65ページ)。



その他

“メモリースティック”について

“メモリースティック”は、小さくて軽いIC記録メディアです。“メモリースティック”的うち、本機で使えるのは下表のとおりです。ただし、すべての“メモリースティック”的動作を保証するものではありません。

“メモリースティック”的種類	記録・再生
メモリースティック (マジックゲート非対応)	—
メモリースティック (マジックゲート対応)	—
メモリースティック デュオ (マジックゲート非対応)	○
メモリースティック デュオ (マジックゲート対応)	○*1*2
マジックゲート メモリースティック	—
マジックゲート メモリースティック デュオ	○*1
メモリースティック PRO	—
メモリースティック PRO デュオ	○*1*2*3

*¹ マジックゲート搭載の“メモリースティック デュオ”です。“マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。本機ではマジックゲート機能が必要なデータの記録/再生はできません。

*² パラレルインターフェースを利用した高速データ転送に対応しております。

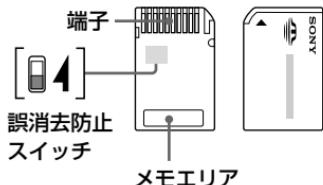
*³ 動画の[640 (ファイン)]の記録ができます。

- パソコンでフォーマットした“メモリースティック デュオ”は、本機での動作を保証しません。

- お使いの“メモリースティック デュオ”と機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。

“メモリースティック デュオ”(別売り) 使用上のご注意

- 誤消去防止スイッチを先の細いものでスライドさせて「LOCK」にすると記録や編集、消去ができなくなります。



誤消去防止スイッチの有無や位置、形状は、お使いの“メモリースティック デュオ”によって異なることがあります。

- データの読み込み中、書き込み中には“メモリースティック デュオ”を取り出さないでください。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
 - 読み込み中、書き込み中に“メモリースティック デュオ”を取り出したり、本機の電源を切った場合
 - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモエリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- “メモリースティック デュオ”本体およびメモリースティック デュオ アダプターにラベルなどを貼らないでください。
- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えること、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。

“メモリースティック”について(つづき)

- ・水に濡らさないでください。
- ・小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込む恐れがあります。
- ・以下のような場所でのご使用や保管は避けください。
 - 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所
 - 直射日光のあたる場所
 - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

メモリースティック デュオアダプター (別売り)使用上のご注意

- ・“メモリースティック デュオ”を“メモリースティック”対応機器でお使いの場合は、必ず“メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに入れてからお使いください。アダプターに装着されていない状態で挿入されると“メモリースティック デュオ”が取り出せなくなる可能性があります。
- ・“メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに入れるとときは正しい挿入方向をご確認の上、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不充分だと正常に動作しない場合があります。
- ・“メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに装着して“メモリースティック”対応機器でご使用になるときは、正しい挿入方向を確認の上で使用ください。間違ったご使用は機器の破損の原因となりますのでご注意ください。
- ・メモリースティック デュオ アダプターに“メモリースティック デュオ”が装着されていない状態で、“メモリースティック”対応機器に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。

“メモリースティック PRO デュオ” (別売り)使用上のご注意

- ・本機で動作確認されている“メモリースティック PRO デュオ”は2GBまでです。

使用可能な“メモリースティック”についての最新情報は、ホームページ上の「メモリースティック対応表」をご確認ください(裏表紙)。

バッテリーについて

バッテリーの充電について

周囲の温度が10℃～30℃の環境で充電してください。これ以外では、効率のよい充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付けることをおすすめします。
- フラッシュ撮影、ズーム撮影などを頻繁にすると、バッテリーの消費が早くなります。
- 撮影には予定撮影時間の2～3倍の予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしてください。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などに濡らさないようにご注意ください。
- 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所に放置しないでください。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長時間使用しない場合でも、機能を維持するために、1年に1回程度満充電にして本機で使い切り、その後本機からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、「スライドショー」再生(35ページ)にして、電源が切れるまでそのままにしてください。
- 本機から取り出したバッテリーは、接点汚れ、ショート等を防止するため、携帯、保管時は必ず付属のバッテリーケースをご使用ください。

バッテリーの寿命について

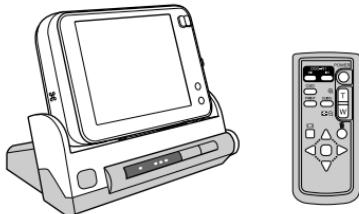
- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しづつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

バッテリーチャージャーについて

バッテリーチャージャーについて

- 付属のバッテリーチャージャーで、NP-BGタイプ以外のバッテリーを充電しないでください。指定以外のバッテリーを充電すると、バッテリーの液漏れ、発熱、破裂、感電の原因となり、やけどやけがをする恐れがあります。
- 充電したバッテリーはバッテリーチャージャーから取り出してください。そのまま充電を続けると、バッテリーの液漏れ、発熱、破裂、感電の原因となります。
- CHARGEランプが点滅した場合は、バッテリーの異常、または指定以外のバッテリーが挿入された場合が考えられます。指定のバッテリーかどうか確認してください。また、指定のバッテリーを挿入している場合は、1度バッテリーを抜き、新品のバッテリーなど、別のバッテリーを挿入してバッテリーチャージャーが正常に動作するか確認してください。バッテリーチャージャーが正常に動作する場合は、バッテリーの異常が考えられます。
- バッテリーチャージャーが汚れていると正常に充電できないことがあります。乾いた布などで汚れを拭き取ってください。

サイバーショットステーションについて



別売りのサイバーショットステーションを使うと、本機をセットするだけで充電が自動的に開始し、手軽に充電できます。充電中はサイバーショットステーションのCHARGEランプでバッテリー量を確認することができます。

サイバーショットステーションに付属のリモコンを使用して、以下の操作ができます。

- テレビで画像を再生する
- スライドショー
- 再生ズーム
- トリミング

またPictBridge対応プリンターと接続し、リモコン操作で簡単にプリントすることができます。

詳しくは、サイバーショットステーションに付属の取扱説明書をご覧ください。

使用上のご注意

■ 置いてはいけない場所

- ・異常に高温になる場所
炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- ・直射日光の当たる場所、熱器具の近く
変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- ・激しい振動のある場所
- ・強力な磁気のある場所
- ・砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■ 持ち運びについて

ズボンやスカートの後ろポケットに本機を入れたまま、椅子などに座らないでください。故障や破損の原因になります。

■ お手入れについて

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などで拭いてください。別売りのクリーニングキットを使うときは、クリーニングリキッドを直接液晶画面にかけず、必ずクリーニングペーパーに染み込ませて使ってください。

レンズをきれいにする

レンズに指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。

表面をきれいにする

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下はご使用にならないでください。

- ・シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類
- ・上記が手についたまま本機を扱うこと
- ・ゴムやビニール製品との長時間の接触

■ 動作温度にご注意ください

本機の動作温度は約0°C～40°Cです。動作温度範囲を超える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

■ 結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

結露が起こりやすいのは

- ・スキーや雪遊び場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- ・冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき、など。

結露を起こりにくくするために

本機を寒いところから急に暖かい所に持ち込むときは、ビニール袋に本機を入れて、空気が入らないように密閉してください。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

結露が起きたときは

電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなつたらご使用ください。特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

■ 内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切に関係なく保持するために充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し1か月程度まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。

内蔵の充電式電池の充電方法

本機に充電されたバッテリーを入れるか、ACアダプター（別売り）を使ってコンセントにつないで、電源を切ったまま24時間以上放置する。

バッテリーの充電方法

→別冊「はじめに」手順1

主な仕様

本体

[システム]

撮像素子	9.10 mm (1/1.8 型) カラー CCD 原色フィルター
総画素数	約8 303 000 画素
カメラ 有効画素数	約8 068 000 画素
レンズ	カール ツァイス バリオ・ テッサー 3倍ズームレンズ $f=7.9 \sim 23.7 \text{ mm}$ (35 mm カメラ換算では38 ~ 114 mm)、F2.8 ~ 5.4
露出制御	自動、マニュアル露出、シ ンセレクション(8モード)
ホワイト バランス	オート、太陽光、曇天、 蛍光灯、電球、フラッシュ
記録方式 (DCF準拠)	静止画: Exif Ver. 2.2 準拠、DPOF対応 動画: MPEG1準拠(モノラ ル)
記録メディア	内蔵メモリー 26 MB "メモリースティック デュオ"
フラッシュ	推奨撮影距離 (ISO 感度が オートのとき) 約0.2 ~ 5.0 m (W) / 約0.34 ~ 2.6 m (T)

[入出力端子]

マルチ接続端子	
USB通信	Hi-Speed USB (USB 2.0 準拠)
液晶画面	
液晶パネル	7.5 cm (3型) TFT 駆動
総ドット数	230 400 (960 × 240) ドット

[電源・その他]

電源	リチャージャブルバッテリー パック NP-BG1、3.6 V ACアダプター AC-LS5K (別売り)、4.2 V
----	---

消費電力(撮影時)

	1.3 W
動作温度	0°C ~ +40°C
保存温度	-20°C ~ +60°C
外形寸法	96.7 × 61.1 × 22.7 mm (幅 × 高さ × 奥行き、突起部を 除く)
本体質量	約185 g (バッテリー NP-BG1、リストストラップ、 スタイルスなど含む)
マイクロホン	エレクトレットコンデンサマ イクロホン
スピーカー	ダイナミックスピーカー
Exif Print	対応
PRINT Image Matching III	対応
PictBridge	対応

バッテリーチャージャー BC-CSG

定格入力	AC 100 ~ 240 V、 50/60 Hz, 2 W
定格出力	DC 4.2 V, 0.25 A
動作温度	0°C ~ +40°C
保存温度	-20°C ~ +60°C
外形寸法	約62 × 24 × 91 mm (幅 × 高さ × 奥行き)
本体質量	約75 g

リチャージャブルバッテリーパック NP-BG1

使用電池	リチウムイオン蓄電池
最大電圧	DC 4.2 V
公称電圧	DC 3.6 V
容量	3.4 Wh (960 mAh)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

記録内容の補償はできません

万一、デジタルスチルカメラや“メモリースティック デュオ”などの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このデジタルスチルカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- ・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- ・所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

アフターサービス

■調子が悪いときはまずチェックを
“故障かな？と思ったら”の項を参考にして故障かどうかお調べください。それでも具合の悪いときはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください(裏表紙)。

■保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

■部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

■部品の保有期間について

当社はデジタルスチルカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過したあとも、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください(裏表紙)。

■修理をお受けになる前に

内蔵メモリーのバックアップをお取りください。データのバックアップ方法は、23ページをご覧ください。

修理によってデータが消去または変更された場合、記録内容の保障についてはご容赦ください。

安全のために

→ 3ページもあわせてお読みください。



下記の注意事項を守らないと、火災、大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はテクニカルインフォメーションセンターにご依頼ください。



分解禁止

内部に水や異物(金属類や燃えやすい物など)を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプター・バッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。



禁止

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、液晶画面を見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。



禁止

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。



禁止

指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。



禁止

機器本体や付属品、記録メディアは乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品や“メモリースティック”などを飲み込む恐れがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



禁止

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。



指示

電源コードを傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュを使用しない



禁止

フラッシュ、AFイルミネーターなどの撮影補助光を至近距離で人に向けてない

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。



禁止



下記の注意事項を守らないと、けがや財産に損害を与えることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。



禁止

ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。



ぬれ手禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

コード類は正しく配置する

電源コードやパソコン接続ケーブル、A/V接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。



指示

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



禁止

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。



禁止

長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。



スラグをコンセントから抜く

フラッシュの発光部を手でさわらない

フラッシュ発光部を手で覆ったまま発光しないでください。発光後も発光部に手を触れないでください。やけどの原因となります。



禁止

レンズや液晶画面に衝撃を与えない

レンズや液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。



禁止

電池や付属品、記録メディア、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる

電池や“メモリースティック”などが飛び出しがあります。けがの原因となることがあります。



指示

**△危険 電池についての
安全上のご注意とお願ひ**

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがや
やけど、火災などを避けるため、下記の注意事項
をよくお読みください。

△危険

- 乾電池型充電式電池・バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹼水などの液体で濡らさない。濡れた電池を充電したり、使用したりしない。



禁止

△警告

- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。
- アルカリ電池/ニッケルマンガン電池は充電しない。
- 外装シールをはがしたり、傷つけたりしない。外装シールの一部または、すべてをはがしてある電池や破れたある電池は絶対に使用しない。



禁止

△注意

- 電池は、+、-を確かめ、正しく入れる。
- 電池を使い切ったときや、長時間使用しない場合は機器から取り出してください。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池は混ぜて使わない。



指示



禁止

お願ひ

リチウムイオン電池とニッケル水素電池はリサイクルできます。不要になつたこれらの電池は、金属部分にセロハンテープなどの絶縁テープを貼つて充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。



Li-ion

リチウムイオン電池



Ni-MH

ニッケル水素電池

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店については

有限責任中間法人 JBRC ホームページ

<http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html> を参照してください。



インストール(70、72、81ページ)

ソフトウェアなどをコンピューターにコピーして組み込み、使用できる状態にすること。

オートパワーオフ機能(→別冊「はじめに」手順2)

電源を入れたまま一定時間操作をしないと、バッテリーの消耗を防ぐため、本機の電源が自動的に切れる機能。

拡張子(78、80ページ)

ファイルの種類を表す3～4文字の英数字のこと。ファイル名の末尾にピリオドで区切られた一番右側の部分。

画素(12ページ)

画像を構成する最小単位。画素数が多いほど画像サイズが大きくなり、画像の解像度が高くなる。

画像サイズ(13ページ)

画素数を縦×横で表示したサイズ。画像サイズが大きいと、画素数が多くなり画像の解像度が高くなる。

光学ズーム(57ページ)

カメラのレンズ機能として拡大ズームを行うこと。CCDとレンズの間の焦点距離を変化させることにより広角・望遠を切り換える方式。画像の劣化はない。

シャッタースピード(11ページ)

撮影時にCCDに光を当てる時間のこと。シャッタースピードを速くすると動きのある被写体も止まって写り、遅くすると流れて写る。

スマートズーム(57ページ)

極めて画質劣化の少ない、画質を優先したデジタルズーム。光学ズームと同じような感覚で使える。ただし、最大ズーム倍率は設定している画像サイズによって異なる。

ドライバ(72ページ)

どのような周辺機器がどのように接続されているかをコンピューター側に知らせ、周辺機器を正しく動かすために必要なソフトウェアのこと。

ノイズ(12ページ)

CCDが光を受け取り信号として出力するまでの過程で発生する画像のざらつきのこと。

半押し(→別冊「はじめに」手順6)

シャッターボタンを押し込みます、半分押した状態にしておくこと。シャッターボタンを半押しすると、撮影状況に合わせてピントと露出を自動で調整する。

被写界深度(28ページ)

被写体にピントを合わせると、その被写体の前後の像にぼけを生じますが、実用上ピントが合っているとみなせる範囲のことを被写界深度といいます。この範囲が広いときは「被写界深度が深い」、また範囲が狭いときには「被写界深度が浅い」といいます。

ピント(30ページ)

被写体に対する焦点のこと。本機はピントを自動調整する。撮影距離を手動でも設定できる。

フォーマット(60、61、64ページ)

「初期化」とも言い、記録メディアにデータを書き込めるようにすること。フォーマットすると、記録メディアに保存されているデータはすべて消える。

フォルダ(48ページ)

本機で撮影した画像をまとめて格納する場所。目的別(イベント別)・日付別に画像を分類するときに便利。

プレシジョンデジタルズーム(57ページ)

ズーム倍率を優先したデジタルズーム。画像をデジタル処理することにより、画像サイズの設定に関係なく常に最大で光学ズーム倍率の2倍のズームが可能。画像サイズ、ズームポジションによっては、スマートズームより画質が劣化することがあるが、一般的なデジタルズームに比べて劣化の少ない画質が得られる。

ホワイトバランス(42ページ)

光源に合わせて色を調整する機能。被写体の見た目の色は光の状況に影響される。例えば、電球の下で撮影すると白い被写体が赤っぽく写る。ホワイトバランスを設定すると、自然な色合いで撮影できる。

“メモリースティック”(113ページ)

“メモリースティック”は小さくて軽いIC記録メディア。本機には、通常の“メモリースティック”より小型の“メモリースティック デュオ”を使用する。

有効画素数(120ページ)

CCDが光から電気信号に変換できる画素数。有効画素数から画像処理をしたものが記録画素数になる。

露出(11ページ)

絞りとシャッタースピードの値により決まる光量。

AE(10ページ)

「Auto Exposure」の略で、被写体の明るさをカメラが判断して、自動で露出を決める機能。

AF(30ページ)

「Auto Focus」の略で、カメラが自動でピントを合わせる機能。

CCD(120ページ)

「Charge Coupled Device」の略で、光を電気信号に変換する半導体の一種。

DCF(9ページ)

「Design rule for Camera File system」の略で、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)で制定された統一規格。

DPOF(93ページ)

「Digital Print Order Format」の略。「ディーポフ」と読み、プリント予約したい写真を“メモリースティック デュオ”上に指定できる。

EV(29ページ)

「Exposure Value」の略で、露光量を表す単位。

Exif(120ページ)

(社)電子情報技術産業協会(JEITA)が制定した撮影情報などの付帯情報を追加できる静止画像用のファイルフォーマット。

ISO(43ページ)

「イソ」と読み、カメラフィルムの光に対する感度で、ISO単位で表す。数値が大きいほど高感度に撮影できる。

JPEG(79ページ)

「ジェイペグ」と読み、インターネットで扱う代表的なカラーの静止画を圧縮する形式。本機では、通常の静止画撮影時、JPEG形式で画像を保存する。

Mass Storage(67ページ)

“メモリースティック”が入ったデジタルカメラ自体を、外付けの記憶装置として認識し、USB接続したパソコンから操作可能なモード。

MPEG(79ページ)

「エムペグ」と読み、カラー動画像の圧縮方式の1つ。品質の良い画像や高い圧縮形式が得られる。本機では、動画撮影時、MPEG形式で画像を保存する。

OS(71、84ページ)

「Operating System」の略。コンピューター全体を管理し、コンピューターを操作するために必要な基本ソフトウェアのこと。

PictBridge(89ページ)

「ピクトブリッジ」と読み、カメラ映像機器工業会(CIPA)で制定された統一規格。PictBridge対応のプリンターと本機を接続して、画像ファイルをプリントできる。

PTP(67ページ)

「Picture Transfer Protocol」の略。パソコンに画像データを簡単にコピーできる接続方法。

USB(71、84ページ)

「Universal Serial Bus」の略。キーボードやマウスなどのパソコンの周辺機器を接続するための規格。

VGA(→別冊「はじめに」手順5)

「Video Graphics Array」の略。640×480の画像サイズのこと。

索引

ア行

- アイコン画面表示 へ
赤目軽減 58
圧縮率 13
アフターサービス 121
アルバム 32, 64
アルバムチェック 64
一覧(インデックス)表示
 → 別冊「はじめに」手順7
色 12
印刷 プリント へ
インストール 72, 81, 85
インターバル 46
インデックス表示
 → 別冊「はじめに」手順7
インデックスプリント 89
ウィンドウズ
 Windows へ
打ち上げ花火モード 26
液晶画面 画面 へ
オート撮影
 → 別冊「はじめに」手順6
オートパワーオフ機能
 → 別冊「はじめに」手順2
オートフォーカス 10
オートレビュー 59
お手入れ 118
お店でプリント 93
主な仕様 120
オンスクリーンキーボタン
 → 別冊「はじめに」手順4
音量
 → 別冊「はじめに」手順7

力行

- 海外で使う
 → 別冊「はじめに」手順1
回転 52
書き込み 64
拡張子 78, 80
各部のなまえ 14
画質 12, 43
カスタマー登録 裏表紙
画素 12
画像サイズ 12
 → 別冊「はじめに」手順5
画像ファイルの保存先と
 ファイル名 78
画像をパソコンに
 取り込む 72
カメラ1 57
カメラ2 59
画面
 明るさ 66
 画面表示 16
 表示切り替え 20
キャリブレーション 69
キャンドルモード 26
強制発光
 → 別冊「はじめに」手順6
記録可能枚数/時間 21
記録フォルダ作成 61
記録フォルダ変更 62
近接撮影 マクロ撮影 へ
蛍光灯 42
警告表示 109
結露 118
言語 9
光学ズーム 57
誤消去防止スイッチ 113
コピー 63

- 困ったときは 96

- コントラスト 47
コンピューター
 パソコン へ

サ行

- 再生 見る へ
再生時に使うメニュー 48
再生ズーム
 → 別冊「はじめに」手順7
再生/編集 25
彩度 46
サイバーショット
 ステーション 117
削除
 → 別冊「はじめに」手順7
撮影 撮る へ
撮影時に使うメニュー 42
撮影モード 44
サポート 裏表紙
シーンセレクション 26
自己診断表示 109
絞り 11
シャッタースピード 11
シャープネス 47
充電
 → 別冊「はじめに」手順1
使用上のご注意 118
初期化 フォーマット へ
シングル 57
シングルプリント 89
ズーム
 → 別冊「はじめに」手順6
スタイルス 15
スタンダード 43
スノーモード 26

スポットAF	30
スポット測光	42
スポット測光照準	42
スマートズーム	57
スライドショー	35
スローシンクロ → 別冊「はじめに」手順6	
静止画オート撮影 → 別冊「はじめに」手順6	
接続	つなぐへ
設定1	65
設定2	66
設定3	67
設定4	69
設定リセット	66
セットアップ	47, 54, 56
アルバム	64
カメラ1	57
カメラ2	59
設定1	65
設定2	66
設定3	67
設定4	69
内蔵メモリー	60
メモリースティック	61
セピア	46
セルフタイマー → 別冊「はじめに」手順6	
操作音	66
測光モード	42
ソフトウェア	81
ソフトスナップモード	26

夕行

太陽光	42
ダイレクトプリント	89
タッチパネル → 別冊「はじめに」手順4	
中央重点AF	30
中央重点測光	42
つなぐ	
テレビ	95
パソコン	74
プリンター	90
デジタルズーム	57
手ぶれ	10
テレビ	95
電球	42
電子式変圧器 → 別冊「はじめに」手順1	
電池	バッテリーへ
問い合わせ	裏表紙
動画撮影 → 別冊「はじめに」手順6	
時計合わせ → 別冊「はじめに」手順2	
時計設定	68
トリミング	55
撮る	
静止画 → 別冊「はじめに」手順6	
動画 → 別冊「はじめに」手順6	
曇天	42

ナ行

内蔵充電式電池	119
内蔵メモリー	22, 60
日時分	58
年月日	58

ハ行

ハウジング	69
パソコン	70
Macintosh	84
Windows	70
画像を取り込む	72, 85
推奨環境	71, 84
ソフトウェア	81
パソコン内の画像を 本機で見る	80
バッテリー	
入れる/取り出す → 別冊「はじめに」手順1	
残量確認 → 別冊「はじめに」手順1	
充電する → 別冊「はじめに」手順1	
使用時間	24
バッテリー	
チャージャー	116
→ 別冊「はじめに」手順1	
早送り/巻き戻し → 別冊「はじめに」手順7	
半押し	10
→ 別冊「はじめに」手順6	
ビーチモード	26
ピクチャーエフェクト	46
ピクチャーパッケージ PicturePackage へ	
ピクトプリッジ PictBridge へ	
ヒストグラム	20, 29
日付/時刻	58
ビデオCD	81, 85
ビデオ信号出力	68
ピント	10

ファイルナンバー	67
ファイルの保存先	78
ファイル名	78
ファイン	43
風景モード	26
フォーカス	30
フォーカスプリセット	31
フォーマット	60, 61, 64
フォルダ	48
作成	61
変更	62
付属品	
→ 別冊「はじめに」	
ブラケット	44
ブラケット設定	45
フラッシュ	42
フラッシュモード	
→ 別冊「はじめに」手順6	
フラッシュレベル	46
プリント	88
インデックス	
プリント	89
シングルプリント	89
プリント予約マーク	93
フレキシブルスポット	
AF	30
プレシジョンデジタル	
ズーム	57
プログラムオート撮影	25
プロテクト	49
分割	52
ペイント	38, 48
変換プラグアダプター	
→ 別冊「はじめに」手順1	
保証書	121
ホワイトバランス	42

二行

マクロ撮影	
→ 別冊「はじめに」手順6	
マッキントッシュ	
..... Macintosh へ	
マルチAF	30
マルチ接続端子	15
マルチ端子専用	
ケーブル 74, 90, 95	
マルチパターン測光	42
マルチポイントAF	30
マルチ連写	44
見る	
静止画	
→ 別冊「はじめて」手順7	
動画	
→ 別冊「はじめて」手順7	
メニュー	40
再生時に使う	
メニュー 48	
撮影時に使う	
メニュー 42	
メニュー項目一覧..... 41	
メモリースティック	61
"メモリースティック	
デュオ" 113	
入れる	
→ 別冊「はじめて」手順3	
記録可能枚数/時間	21
誤消去防止スイッチ.	113
取り出す	
→ 別冊「はじめて」手順4	
持ちかた	
→ 別冊「はじめて」手順6	
モニタリング	57
モノトーン	46

ヤ行

夜景＆人物モード	26
夜景モード	26
有効画素数	120
用語の解説	125

ラ行

リサイズ	51
リストストラップ → 別冊「はじめに」	
連写	44
露出	11
露出アンダー	11
露出オーバー	11

アルファベット順

ACアダプター	15
→ 別冊「はじめに」手順1	
AE/AFロック表示	
→ 別冊「はじめに」手順6	
AFイルミネーター	59
AF測距枠	30
AF測距枠表示	30
AFモード	57
BGM	35
BGMダウンロード	65
BGMフォーマット	65
CD-ROM	72, 86
DC IN端子	15
DirectX	71, 81
DPOF	93
EV補正	29
FINE	43
F値	11
ImageMixer	
VCD2	81, 85

ISO.....	11, 43
JPEG.....	79, 127
LCDバックライト	66
Macintosh.....	84
推奨環境	84
M AF	57
Mass Storage	67
Mode	44
MPEG	79, 127
Music	
Transfer	81, 82, 86
NRスロー	
シャッター	17, 28
NTSC	68
OS.....	71, 84
PAL	68
PFX	46
PictBridge.....	67, 89
PicturePackage	81
PTP	67
P.エフェクト	46
S AF	57
STD.....	43
USB接続.....	67
USB ドライバ	72
VGA	
→ 別冊「はじめに」手順5	
WB	42
Windows	70
推奨環境	71